研究発表題目(企画シンポジウム・部門別口頭発表) 3月8日 午前 1/2

	表題目(企画シン			8日 午前 1/2	040	444	410
会場	331	332	341	342	343	411	412
開始時刻			S11 生理部門シンポ	S12 広葉樹林化	S5 原発事故後の生物		
9:00			S11-1 スギの成長特性: 丹	S12-1 広葉樹林化の困難	S5-1 森林に降った放射性		
			下健 (東京大学) S11-2 モデル植物としてス ギを使う〜針葉樹における	性と可能性:酒井武(森林 総合研究所) S12-2 静岡県における針広	セシウムの動態: 小松雅史 (森林総合研究所)ら S5-2 福島第一原発事故後		
9:15			新奇の光合成代謝の解明 を例に:宮澤真一(森林研究・整備機構 森林総合研	混交林化に関する取組と現 状について:高田航(静岡県)ら	に観察されたモミの形態変 化の検証:渡辺嘉人(量子 科学技術研究開発機構)		
			究所)ら S11-3 遺伝子発現から探る スギの高温順化メカニズム : 伊原徳子(国立研究開発	S12-3 下層植生の回復と表 土流亡の抑止に及ぼすヒノ キ人工林の間伐方法の影響:渡邉仁志(岐阜県森林	S5-3 帰還困難区域内外に 自生するアカマツの DNA 酸 化損傷レベルの比較:水澤 玲子(福島大学)ら		
9:30			法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所)	研究所) S12-4 日照条件からみたス ギ・カラマツ人工林の伐採 幅の検討: 朱宮丈晴(公益	S5-4 低線量率放射線による突然変異リスクの迅速評価法の開発:上野真義(森		
9:45				財団法人日本自然保護協会)	林総合研究所)ら S5-5 福島に住むことになったいち研究者が見たこと、		
				S12-5 関東森林管理局に おける広葉樹林化の取組: 諏訪実(関東森林管理局)	考えたこと、取り組んだこと : 兼子伸吾(福島大学)		林政 1
10:00				S12-6 広葉樹林化を加速 させる播種方法: 星野大介 (森林研究・整備機構)			AI 地方自治体の森林行政 担当者の知識と情報源: 石 崎涼子 (森林研究・整備機 構 森林総合研究所)
10:15							A2 森林環境譲与税の使途 に対する選好評価: 秩父 市を事例とする選択型実験 : 片田陽菜(筑波大学大学 院)ら
10:30							A3 都道府県による小規模 林業者への機械導入支援 の実態:尾分達也(兵庫県 立大学)ら
10:45						教育 1	討論·調整
11:00						C1 19 世紀ドイツの林業作 業 - 1833 年のバーデン 森林法 その2: 寺下太郎 (愛媛大学大学院農学研究 科)	A4 The role of the FCS under state-owned forest farm reform -case study in Huanglong Mountain Forestry Bureau: 王一聰(九州大学)ら
11:15						C2 地域の固有種にみる森 林環境教育の可能性 - 対 馬市と日南町の政策から一 杉浦克明(日本大学)ら	A5 タンザニアのPFM政策 における住民参加の実態 (仮):福嶋崇(亜細亜大学)
11:30						C3 世界自然遺産登録を契機に地域を学び直す地方自 治体職員の変容:大島順子 (国立大学法人 琉球大学) ら	A6 発表取消
11:45						討論·調整	討論・調整
12:00							

研究発表題目(企画シンポジウム・公募セッション・部門別口頭発表) 3月8日 午前 2/2

研究発	表題目(企画シン	ノポジウム・公募1	<u>セッション・部門</u> 別	<u> 口頭発表) 3</u> 月8	3日 午前 2/2	
会場	413	431	432	441	442	443
開始時刻		S4 農林業センサス	S3 生物多様性枠組	S2 都市住民と森林	S10 木質パイオマス	S8 山林の変化と災害
9:00 9:15 9:30 9:45 10:00 10:15 11:15 11:45	日本 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	S4-1 2010 年から 2020 年までの農林学の農林学の農林学での農林学での農林学での大学 3 3 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	S3-1 足明・モントリオール 生物を操性を投票で いた。 「東京大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学大学	S2-1 森林への関心と訪問 をめぐる調理の ・ 高山森林や研究の動物 ・ 高山森林や研究所 ・ 高山森林や研究所 ・ 高山森林や研究所 ・ 田市 ・ 田市 ・ 田市 ・ 田市 ・ 田市 ・ 田市 ・ 田市 ・ 田市	S10-1 木質状とない。	S8-1 森林の水源酒養機能の概念が生み出されたので、 の概念が生みに、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では
12:00						

研究発表題目(企画シンポジウム・公募セッション・部門別口頭発表) 3月8日 午後 1/2

					J口頭発表) 3月8			
1970	会場	331	332	341	342	343	411	412
13-10	開始時刻	学会企画 1						
1.1.1 1.1.2 1.								
1920 1920		ダイバーシティ						
14.13	12:45	若手雇用問題についての 情報交換						
1930 1940		IH TUZIK			10-1-7	,		
14.10 14					ボスター発	表コアタイム		
14.15								
日本日 日本			S13 変動環境	T5 樹木懇	S1 樹木の環境適応	T3 森林放射能	教育 2	林政 2
14-20 14	14:15		の葉におけるオゾン吸収速 度の比較とその違いの解析	趣旨説明	林の設立経緯と現代的意義 :後藤晋(東京大学大学院 農学生命科学研究科)	趣旨説明	たな森林環境教育の可能 性:三浦万由子(日本大学	割:北海道下川町を事例として:黒田峻平(北海道大
14-45 日 4-45 日	14:30	学会企画 2	に基づくスギ針葉のオゾン 吸収量の樹冠内鉛直分布	がもたらす斜面崩壊防止力 の比較: 今若舞(兵庫県立	用いたダケカンバの光合成 特性の種内変異の評価:飯	地下水流出による Cs-137 移行フラックスの推定: 庭野	を定点カメラ映像で繋ぐプロ グラムのプロトタイプ開発:	A8 道の駅における林産物 出荷者の特徴: 志賀薫 (森 林総合研究所) ら
1945 1945			工大学) ら 	大学大学院)ら	葉および個体スケールの光	伯具(筑波大学)	中村和彦 (東京大学) ら	
15:00 15	14:45		S13-3 異なる土壌に生育したヤマナラシ属2種の虫害	T5-2 大雨を伴う台風で引き	- 合成特性とその種内変異: 廣田充(筑波大学)ら	T3-2 安定同位体 Cs を用	C6 地域活性化を目指した	A9 旧尾鷲町の山道におけ
19:00			孝良(北海道大学)ら S13-4 常緑広葉樹葉が展	スク要因の比較 : 森本淳子	ンバの表現型変異と自然選 択・小集団化との関連: 相	らの放射性 Cs 吸収深度の 推定: 今村直広 (森林総合	大園慶 (上越教育大学) ら	の実態: 平山和虎(東京大
15-15 15-16 15	15:00		の適応的な解釈: 久米篤	T5-3 アラスカ永久凍土上に		T3-3 野生山菜コシアブラに	討論・調整	討論・調整
15-15 日本			 S13-5変動する大気環境に 対する日本海側の森林集	位置と肥大成長量の経時変 化: 菊川拓聖(信州大学)	境と産地の違いよる遺伝子 発現:津村義彦(筑波大	の推定:渡邊未来(国立環境研究所)ら		
日本	15:15		ジア大気汚染研究センタ	T5-4 ¹³ C ラベリングによるカ	temperature on survival and	討論·調整	C7 クビアカツヤカミキリの 神霊性吟に向はて学校教	A10 明治期の秩父地域に
自然再興 「日本日本		副会長	S13-6 ガスおよびエアロゾ ルの大気 - 森林間交換 : 松	成産物配分の季節変動:木	growth of <i>Betula ermanii</i> revealed by range-wide provenance trial: Aye Myat		育ができることを探る: 倉林 正(太田市立太田高等学	除: 植松朔子(東京農業大
15-45	15:30	造林学・森林生態学と		T5-5 冷温帯 9 樹種におけ	-	T3-4 2014 ~ 23 年の川俣	C8 地域の自然素材を生か	A11 ふもとっぱらキャンプ場
16:00		日然丹英		差: 勝間帆波(信州大学大		: 小林達明 (千葉大学大学	(小清水町立小清水小字	における捕獲されたシカの 多用途利用について:稲富 拓人(筑波大学)ら
Ti-co 丹沢文平林の地上部 対論・調整 対論・対数 対論・対数 対論・対数 対論・対数 対論・対数 対法・対数 対 対 対数 対数 対 対 対 対	15:45			討論・調整		が休眠期のコナラ当年枝の 137Cs 放射能濃度に与える	の土砂流出防止機能に関 するモデル実験の提案:東	
地下形と金アスアジー・仲 相下(東京大学) 16:15 子会企画 3 16:16 子会企画 3 16:17 日	10.00			TE 0 12 12 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14			=1-0A =m sit	=1-5A =m =6
P P P P P P P P P P	16:00			地下部生産フェノロジー: 仲		計画・副発	計画・副登	打誦 • 調登
P P P P P P P P P P	16:15			T5-7 深層学習を用いた細	-			A13 屋久島における宿泊業
樹木橋の発達機能の最近の環境の登録を使用を対し、 1645 おける自体未実及び自体を 記録 記録 記録 記録 記録 記録 記録 記録		学会企画 3		根自動抽出ソフトウェアによる成長・枯死根の抽出:山				の盛衰過程:ロングステイ の可能性を探る:西富琉之
日本日の発達と機能の最近の環境の登録を、牧田直射 (信用大学) 5 記憶の環境の遺産を、牧田直射 (信用大学) 5 記憶の環境を対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	16:30			T5-8 森林生態系における				A14 都道府県、市町村に
17:00 お協・調整				樹木根の発達と機能の最 近の理解の進展: 牧田直樹				おける目伐林業及び目伐型 林業推進方針・施策の類 型化 : 土居拓務 (農林水産
17:00 お協・調整	16:45			討論・調整	-			A15 林業労働における現代
17:15 求む!森林科学の卒業生 計論・調整(総合計論)								察: 伊藤幸男 (岩手大学)
17:15 求む!森林科学の卒業生 計論・調整(総合計論)	17:00			ポスター紹介	-			討論・調整
Title 求む!森林科学の卒業生	-							
Title 求む!森林科学の卒業生		A =						
(大型林栗所修受講者の特性と訳労賞向: 佐藤宣子 (九州大学)	17:15			計論・調整 (総合計論)				A16 2020 年代における自
	.,	ホ心:林州付子 の卒業生						伐型林業研修受講者の特 性と就労意向:佐藤宣子
	17:30							A17 事例にみる森林組合経
株の傾向で入州森林管理 	-							営の課題 : 松本美香(高知
株の傾向で入州森林管理 	17:45							A18 国有林施業と受注事業
18:15								体の傾向~九州森林管理 局データ5年間の分析~: 宮野岳明(九州大学大学
18:15	18:00							討論・調整
18:45	18:15							

研究発	表題目(企画シン	ノポジウム・公募 🖯	セッション・部門別	」口頭発表) 3月8	3日 午後 2/2	
会場	413	431	432	441	442	443
88 4/s n± ±st						
開始時刻						
12:00						
12:15						
12:30 12:45						
13:00						
13:15			ポスタ―登	表コアタイム		
13:30 13:45			717777 365	27//		
14:00						
	4 ₹₩ 0	S6	T1	T2	S9	7+ <<< -b
	経営 2	林業経済学	T1 多様性保全	保健休養機能	S9 スマート林業	防災・水文 1
14:15	D9 スギ高齢林の樹冠形状 と樹高成長の関係について	S6-1 林業経済学の歩みを ふりかえり、これからを考え	T1-1 南三陸地域イヌワシ 生息環境再生に向けた森	T2-1 事例検討;内的作業 モデルの対象としての風景	S9-1 スマート林業は何を目 指しているのか?: 鹿又秀	│J1 地下水モデルへの接続 │を目的とした広域森林情報
	: 福井翔宇 (株式会社パスコ)	る: 柴崎茂光 (東京大学)	林管理の特徴:王聞(京都 大学)ら	: 尾崎勝彦(びわこリハビリテーション専門職大学)ら	聡 (森林総合研究所)	の活用と森林水循環評価: 五味高志(名古屋大学)ら
		S6-2 2000年代以降の研	X+75) フョン寺口城八十/ら	S9-2 スマート林業の現場	五外同心(石口座八子)の
14:30	D10 トドマツ人工林の連年	究史を概観する: 三木敦朗 (信州大学)	T1-2 人工林の管理は様々	T2-2 Understanding the	実装に向けた林野庁の取 組:本山淳一(林野庁)	J2 森林の成熟が土砂災害
14.30	成長量に対する環境要因の	S6-3 林業経済学に求めら	な気候・季節で遷移初期	Diversity and Status of Urban	S9-3 長野県におけるGNSS	発生に与える影響の全国
	効果:滝谷美香(道総研林 業試験場)ら	れているリサーチクエスチョ ン:ワークショップを経て:	性・森林性鳥類の回復に 役立つ:河村和洋(森林総	Trees and Herbaceous Plants of Setagaya Ward.: キバラマ	測量技術の普及と RTK 基	的評価:篠原慶規(宮崎大 学)ら
		ン:ワークショッフを経て: 岩永青史(名古屋大学)	合研究所)ら	マーヴイン(Tokyo University of Agriculture(NODAI))ら	準局設置の取組み:松永宙 樹(長野県森林組合連合	
14:45	D11 深層学習を用いた林内	S6-4 林業経済学の未来に	T1-3 温帯二次林における	T2-3 都市近郊の里山を活	(会)	J3 未経験降雨指数による
	画像による林分情報の解析 : 浅井天哉(京都府立大学	向けて:リサーチクエスチョン探求の経緯と議論:田村	甲虫群集の垂直・水平分 布:石塚達也(東京農工大	用した森林散策カウンセリング - 若手女性職員の事例	S9-4 レーザ機器等を活用 した林業事業体による立木	近年の土砂災害を引き起こした降雨の解析: 小杉賢一
	大学院)ら	ン採水の経緯と議論: 田村 典江(事業構想大学院大 学)	学大学院)ら	-: 竹内啓恵 (樹づ木合同 会社 / 東京農業大学) ら	評価の現場実装への取組	朗(京都大学)ら
		字)		云14 / 宋尽辰来天子) り	み:山田隆信(山口県農林 総合技術センター)	
15:00	D12 異なる環境条件下の打 軽きに基づく概章・対策推		討論・調整	T2-4 九州の病院における 森林療法の道 λ・ト 原産	S9-5 オルソ画像認識 AI エ	J4 斜面崩壊の引き金となる 降雨評価法について: 執印
	撃音に基づく樹高・材積推 定深層学習モデルの精度			森林療法の導入:上原巌 (東京農業大学)	ンジン開発における学習デ	降雨評価法について: 執印 康裕 (九州大学)
	検証:藤橋杏一(京都府立 大学大学院)ら				ータセット整備の効率的手 法: 木村一也(石川県森林	
				5.15A 5m+b	組合連合会)ら	5.15A 5M±6
15:15	討論·調整		T1-4 多樹種が共存する亜 熱帯広葉樹林内の更新ニッ	討論・調整	S9-6 林業アプリ WoodRepo ユーザの利便性向上と効率	討論・調整
			チに影響する rPPFD の差: 谷口真吾 (琉球大学)ら		的運用への取り組み:上野	
					直人 (株式会社エイブルコ ンピュータ) ら	
15:30	D13 地上レーザーによる森		T1-5 樹種混植と施肥が個		S9-7 深層学習 Web アプリ	
10.00	林内下層植生状況の把握:		体成長に及ほす影響 - 幼		にて活用するための UAV	
	岩﨑有莉沙 (千葉大学) ら		齢樹木多様性実験の結果 から -: 齋藤大 (フライブル		│ 林内全天球画像の選別 : 矢 │ 田豊 (石川県農林総合研	
			ク大学) ら		究センター) ら	
15:45	D14 森林内空隙構造による		T1-6 保持林業の四国での		S9-8 森林の管理優先度を	
	微気象への影響評価: 青柳 寛太郎 (千葉大学) ら		適用:水源林のスギ・ヒノ キ人工林での取り組み:山		広域評価する技術の提案と 実装に向けて: 鷹尾元(森	
			浦悠一(森林総合研究所)		林総合研究所) ら	
16:00	D15 地上レーザーを用いた クロマツ海岸林の曲がり樹		討論・調整			
	形解析:山田誠太郎(千葉					
	大学)ら					
16:15	D16 超小型バックパックレ		T1-7 気候変動下で持続的			
10.10	ーザスキャナを用いた立木		な生態系サービス供給を実			
	幹直径と矢高の計測精度検 証:米康充(島根大学)ら		現する森林管理のシナリオ 分析: 堀田亘(北海道大			
			学)ら			
16:30	討論·調整		T1-8 王子グループの生物			
			多様性保全の取り組み ネ イチャーポジティブの実現へ			
			: 豊島悠哉 (王子マネジメントオフィス株式会社)			
16:45	D17 里山林内に生育するス ギ・ヒノキの生態系サービ		T1-9 生物多様性保全と森 林管理のための制度的取り			
	スの貨幣価値評価: 江口則和(人間環境大学)ら	T4 デジタルツイン	組み: 堀靖人(森林総合研究所)ら			
	TH(八回株光八十)り	1 2310312	7017/19			
17:00	D18 森林調査におけるドロ	趣旨説明	討論・調整			
	ーンレーザ計測手法と計測 精度の検討: 千葉幸弘(日		sine 10-2-15			
	有度の検討: 十条辛弘(日本森林林業振興会)					
17:15	D19 UAV-LiDAR データから	T4-1 森林を含む全国規模				
	の樹幹形質推定精度の検 証: 平岡裕一郎(静岡県立	のデジタルツインの構築を 目指して: 中村良介(産業		国础,组业 1		
	農林環境専門職大学)ら	技術総合研究所)ら		風致・観光 1		
	Lieutr					
17:30	D20 複数サイトを対象とした 森林計測と検証 ②機械学	T4-2 森林デジタルツインの 構築に向けた現状と課題:		B1 牧野道を活用した草原 ライド参加者の草原保全の		
	森林計測と検証 ②機械学 習モデルの構築:緒方誠二郎(鹿島建設株式会社)ら	瀧誠志郎((国研)森林総 合研究所)ら		意識に関する研究: 蓮池辰 哉(東京農業大学)ら		
	会 (原明定以下八五社/り	1 MIJUN/ 9				
17:45	討論・調整	T4-3 デジタルデータを活用		B2 阿蘇くじゅう国立公園に		
	MIN 10-3-TE	した自動走行フォワーダの開発:中澤昌彦(森林総合		おける牧野組合の野焼き支援ボランティアの導入要因:		
		研究所)ら		奥山雄斗 (東京農業大学)		
				6		
		T4-4 森林デジタルツイン		B3 茨城県阿見町における		
18:00			i .	竹林の現状と竹林を活かし た地域づくりの可能性: 入		
18:00		構築に資する環境データの IoT モニタリングシステム:				
18:00		IoT モニタリングシステム: 南光一樹(国立研究開発		江彰昭(東京農業大学)ら		
		loT モニタリングシステム: 南光一樹(国立研究開発 法人森林研究・整備機構) ら		江彰昭 (東京農業大学) ら		
18:15		IoT モニタリングシステム: 南光一樹(国立研究開発 法人森林研究・整備機構)				
		loT モニタリングシステム: 南光一樹(国立研究開発 法人森林研究・整備機構) ら		江彰昭 (東京農業大学) ら		

研究発表題目(企画シンポジウム・部門別口頭発表) 3月10日 午前 1/2

		レポジウム・部門5			0.0		446
会場	331	332	341	342	343	411	412
開始時刻				造林 1	防災・水文 2	S7 森林教育の発展	
9:00				E1 機械地拵え地で下刈り 1回のみ行ったトドマツ夏植 栽苗の8年間の生存と成長 :原山尚徳(国立研究開発 法人森林研究・整備機構 森林総合研究所) ら	J5 エルニーニョ南方振動 が突き動かす ボルネオ熱 帯雨林の 炭素・水循環: 熊谷朝臣 (東京大学)	87-1 ボーイスカウトで実施 している森林環境を活用した教育活動:香山雅純(森 林総合研究所) S7-2 中学校における森林	
9:15	微生物	動物・昆虫 1	立地	E2 植栽地の斜面方位によって必要な下刈り回数は変わるか?:陶山大志(島根県中山間地域研究センター)	J6 ワサビ田の微気象構造 とその上位部に生育するヒ ノキの樹液流測定: 竹内真 ー(東海大学)ら	環境教育の取り扱いについて: 玉置理那(鹿児島市立谷山中学校) 87-3 通信制高校における自然体験を中心としたカリキュラムに関する実践報告	
9:30	M1 Phyllosticta sphaeropsoidea によるトチノ キ斑葉病(新称): 富澤千 晶(東京農業大学)ら	L1 シカによって剥皮害を受けた直後のサラサドウダン幹表面の細胞形成: 阪上宏樹(九州大学)ら	I1 10 年間の森林下層植生除去が土壌生物群集機能に与える影響: 菱拓雄(九州大学)ら	E3 低コスト再造林プロジェクト紹介:田中賢治(国土防災技術株式会社)	J7 Impact of conversion from forest to photovoltaic power farm on river water quality: ファラナクモイン(東 京大学)ら	: 中嶋優友(広島工業大学高等学校) S7-4 大学構内の森林における体験活動の可能性:子ども・学生の育ちからの考	
9:45	M2 ナナミノキの枝葉に発生 した細菌病について: 石原 誠(森林総合研究所)ら	L2 北八ヶ岳亜高山針葉樹林におけるニホンジカが好む環境条件:小山泰弘(長野県林業総合センター)ら	12 攪乱・圧縮を受けた森林 土壌の低温条件下での回 復:小野裕(信州大学)ら	討論・調整	討論・調整	察: 佐藤冬果(東京家政学院大学) S7-5 大学演習林を活用した共通教育科目としての自然体験活動の教育効果: 川	
10:00	M3 Quercus 属の樹液に見られる酵母の種多様性:遠 藤力也(理化学研究所)ら	L3 60 年前の風倒後の倒木 搬出が現在のシカの景観ス ケールでの分布に与える影響: 鈴木智之(東京大学)	13 タイ西部の熱帯季節林で の森林動態と物質循環の長 期観測:平井敬三(国立研 究開発法人 備機構)ら	E4 ツリーシェルターが植栽苗に及ぼす効果のメタ解析:安部哲人(日本大学)	J8 森林流域のかく乱に伴う 渓流水の硝酸態窒素濃度 の長期変動とその規定要 因:勝山正則(京都府立大 学)ら	畑和也 (鹿児島大学) S7-6 森林環境における野 外運動授業が大学生の創 造性に及ぼす影響:渡邉仁 (筑波大学)	
10:15	討論·調整	L4 皆伐・植栽地及びその 周辺を利用するニホンジカ の行動: 大場孝裕(静岡県 西部農林事務所)	討論·調整	E5 人工光型植物工場における給水管理がカラマツ苗の成長に及ぼす影響:野末はつみ(信州大学)ら	J9 気象モデルを用いた台 風に伴う森林災害を引き 起こす強風の推定:吉岡 真由美(国立研究開発法 中事航空研究開発機構 (JAXA))ら		
10:30	M4 御嶽山の優占針葉樹 3 種における外生菌根菌の群 集構造と生育への影響:高 津柊大(名古屋大学大学 院)ら	討論・調整	14 北海道苫小牧の落葉広 葉樹林における火山灰埋没 土壌中の炭素蓄積:保原達 (酪農学園大学)ら	E6 海岸砂丘地のクロマツ 保護樹による成長期の環境 緩和効果:多山尚希(鳥取 大学)ら	J10 風環境に対応した立木 振動の変化:上村佳奈(信 州大学)ら		
10:45	M5 外生菌根菌の菌糸伸長 と分布決定に果たす温度の 役割: 小泉敬彦 (東京農業 大学)ら	L5 ナラ枯れの原因はどこまで解明されたのか?:小林正秀(京都府森林技術センター)	15 スギ人工林域の炭素吸収量の将来予測ースギの 取量の将来予測ースギの 面積縮小と高齢級化の影響 一:鳥山淳平(森林総合研 究所九州支所)ら	討論·調整	討論·調整		
11:00	M6 Dynamics of soil properties and AMF communities in roots and soils of <i>Cryptomeria japonica</i> : DjotanKevin(東京大学)ら	L6 粘着性塗布剤によるナラ 枯れ被害防除効果の検証: 吉田智弘(東京農工大学) ら	16 日本の森林土壌における メタン・CO2 フラックスの時 空間変動: 森大喜(森林総 研九州)ら	E7 中国雲南省における森 林保全の取り組みと植物利 用文化への影響:王文(神 戸大学)ら	J11 間伐が海岸林の津波 及び風害抵抗性に及ぼす 影響:鳥田宏行(苫小牧工 業高等専門学校)ら		
11:15	M7 針葉樹林と広葉樹林の 土壌細菌・真菌・線虫群 集構造と共起ネットワーク構 造:北上雄大(三重大学大 学院)ら	L7 野外におけるイソプレン のカシノナガキクイムシ誘引 効果:伊東康人(兵庫農技 総セ)ら	17 ヒノキ林における間伐が 土壌の温室効果ガスフラッ クスに及ぼす影響: 稲垣善 之(森林総合研究所)ら	E8 低密度植栽と低コスト樹幹注入法により海岸クロマツ林は維持管理できるのか・・小倉晃(石川県農林総合場でセンター 林業試験場)ら	J12 樹林を用いた鉄道防災機能に関する研究: 足立啓二(東日本旅客鉄道株式会社)ら		
11:30	討論・調整	L8 寄主木樹冠内でのカシノ ナガキクイムシの捕獲:山 崎理正(京都大学)ら	討論·調整	E9 人工林皆伐地とその周辺の地形が大型草食獣の 採食強度に及ぼす影響:酒 井敦(森林総合研究所)ら	J13 小規模室内延焼実験 によるコナラ・スギ・アカ マツ葉リター層の延焼速度 : 吉藤奈津子(森林総合研 究所)ら		
11:45		討論·調整		討論·調整	討論·調整		
12:00							

研究発表題目(部門別口頭発表) 3月10日 午前 2/2

会場	表題目(部門別口 413	431	0日 午前 2/2	441	442	443	541
云场	413	431	432	441	442	443	341
開始時刻	風致・観光 2		利用 1	経営3			
9:00	B4 大雪山国立公園におけ		K1 数理シミュレーションを	D21 2 周波 GNSS 測位にお			
	る登山道維持の課題と登山 者参加: 愛甲哲也(北海道 大学) ら		用いた事業計画ツールと木 材利用への応用可能性:金 子竣亮(東京大学大学院) ら	ける植生と地形の影響評価 : 吉井達樹 (名古屋大学) ら			
9:15	B5 支笏湖の適正利用を目的とした費用負担導入に対する利用者意識: 深津幸太郎(北海道大学)ら	林政 2	K2 林業作業におけるウェア ラブルセンサを用いた作業 種と心身状態の予測: 榎本 真(BIPROGY 株式会社)ら	D22 3 次元レーザーを用い た森林内空間解析:加藤顕 (千葉大学)ら			
9:30	B6 自然公園の基金制度か 発表取消 :	A19 Evaluation and Prediction of Economic Impacts of Cross-Laminated Timber Manufacturing in Japan: 劉夢媛(東京農工 大学)	K3 ROS を用いたグラップルローダ自動制御手法の開発:伊藤崇之(森林総合研究所)ら	D23 地すべりに対する土塊 と樹木の傾きとの関係: 若 林日菜 (千葉大学) ら			
9:45	討論·調整	A20 家具用国産広葉樹材 供給拡大への条件解明ー 流通規格の必要性: 天森 特(国立研究開発法 天森 林研究・整備機構森林総 合研究所) ら	討論・調整	討論・調整	植物生態 1	生理	
10:00	B7 野付風蓮道立自然公園 の国定公園化における管理 有効性評価の活用: 井上貴 央(北海道大学)ら	A21 愛媛大学演習林における広葉樹材の活用に関する 一考察:川崎章恵(愛媛大学)ら	K4 小規模熱利用に供する 燃料用木質チップを生産す る移動式切削チッパの性 能:竹内大畝(東京農工大 学)ら	D24 LiDAR データを活用した非経済林管理のDX 化:田中和博(京都先端科学大学)ら	H1 気候変動下で北海道の 天然林はどう変わる?動的 植生モデルによる予測: 佐藤永(海洋研究開発機構) ら	G1 イヌマキ苗木における乾燥に対する生理機能の脆弱性が樹冠衰退へ与える影響:高橋玄 (千葉県農林総合研究センター)ら	
10:15	B8 林地のトレイルにおける 多様なレクリエーション利用 の地理的特徴: 松浦俊也 ((国研)森林研究・整備 機構 森林総合研究所)	討論・調整	K5 車両系林業機械の走行 が走行跡地に植栽したスギ の活着と成長に及ぼす影響 : 松浦崇遠(富山県農林水 産総合技術センター森林研 究所)ら	D25 航空レーザに基づく森 林資源解析結果の森林計 画制度への反映: 塚原正之 (アジア航測株式会社)	H2 MODIS による中国黄淮 海の農作物 FVC 変遷と因 子反応:董徳進(九州大 学)	G2 亜高山帯林における標 高勾配に沿った樹木細根の 吸水速度:増本泰河(信州 大学大学院)ら	
10:30	B9 北アルプス・折立太郎 線登山道沿いの地形と人 為的攪乱について:大宮衛 (富山県農林水産総合技術 センター森林研究所)ら	A22 都道府県における省エ ネ健康住宅認証制度と木材 の関わり: 安村直樹 (東京 大学)	K6 中間土場による運材費 の削減は経済的な再造林 可能範囲を流大出来る 連田高明(地方独立行政 法人 北海道立総合研究機 構)ら	D26 航空レーザ計測データ と過去の空中写真を用いた 地位指数曲線の作成:村上 拓彦(新潟大学)ら	H3 RTK-UAV を用いた地震 由来の斜面崩壊跡地にお ける初期の植生回復要因 の把握:中田康隆(京都府 立大学)ら	G3 Relationship between stem hydraulic conductivity and stomatal conductance sensitivity to VPD in Borneo's canopy trees.: 辻 祥子(京都大学)ら	
10:45	討論·調整	A23 森林生態系サービス提供のための PES 等のイノベーション 欧州と日本の比較:柴田晋吾(上智大学)	討論·調整	討論·調整	討論・調整	討論·調整	
11:00	B10 日本における観光ガイ ド従事者に関する研究動向 の把握: 武正憲(東洋大 学)ら	A24 山林評価人に関する研究: 大塚生美 (国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所)ら	K7 位置誘導装置による乗 用型刈払い機(山もっとモット)の下刈り作業: 渡辺 一郎(地独) 北海道立総合 研究機構林業試験場)ら	D27 樹冠高データを用いた カラマツ樹高曲線の作成: 不成績造林地を考慮して: 蝦名益仁(地方独立行政 法人北海道立総合研究機 構)ら	H4 暖温帯常緑広葉樹林に おける樹木の空間分布と地 形依存性:蜂須賀莉子 (鹿 児島大学大学院)ら	G4 スギにおける樹幹 CO ₂ 放出速度に樹幹温度および 木部分化帯幅が与える影響 : 平谷理人(信州大学大学 院)ら	
11:15	B11 在日外国人を対象に した三瓶山エリアの観光魅 力度の評価:陳月(鳥取大 学)ら	討論・調整	K8 根系の片側が除去され た直後の立木の安定性: 松 本武(東京農工大学大学 院)ら	D28 航空レーザー計測による単木樹高データを用いた 最大積雪深と樹高成長の関係: 大矢信次郎(長野県林 業総合センター)	H5 ササ優占型成熟林におけるギャップサイズが林床植生に及ぼす影響:植田時(筑波大学)ら	G5 雄性不稔遺伝子 MS1 を変異させたゲノム編集スギの性質: 西口満(森林総合研究所)ら	
11:30	B12 森林レンタル事業の利用者が好む森林風景: 水内佑輔(東京大学)ら		討論·調整	D29 大規模航空機レーザ計 測データと衛星画像を組み 合わせた森林資源量の予 測: 志水克人 (国立研究開 発法人森林研究・整備機 森林総合研究所四国支 所) ら	H6 ヒノキ人工林の小面積 皆伐に対する林床植生の対 応: 洲崎燈子(豊田市矢作 川研究所)ら	討論・調整	
11:45	討論·調整			討論・調整	討論・調整		
12:00							

研究発表題目(部門別口頭発表)3月10日 午後 1/2

りり フレフ ひ		1 娱无权/ 0万 10					
会場	331	332	341	342	343	411	412
13:00							
13:15							
10.10							
			ポ	スター発表コアタイ	<i>'</i>		
13:30			713	ハグール数コングロ	_		
13:45							
14:00							
	特用林産	動物・昆虫 2	遺伝・育種	造林 2	防災・水文 3	教育 3	
14.15	N1 フッカトス中央 発生品 L	10 ビロウビカンナロの第47	E1 フエレミブナニ へ	E10 ササ刑サウレノナー	114 甘地の屋根却し公が1-	010 草状にセルス国中の単	
14:15	N1 マツタケ子実体発生量と 期間別降水量の相関: 古川	L9 ビロウドカミキリの選好 性樹種: 江崎功二郎(石川	F1 フモトミズナラ Quercus mongolicoides の起源と分	E10 ササ型林床ヒノキ人工 林における間伐後の下層植	J14 林地の尾根部と谷部に おける TEROS 21を用いた	C10 高校における国内留学 の課題に関する研究 一群	
	仁(長野県林業総合センタ	県農林総合研究センター林	布拡大について: 広木詔三	林における間伐後の下層植生の発達様式・城田徹央	水分ポテンシャルの連続観 測:関口覧人(森林総合研	馬県の O 高校を対象として	
	—) ₆	業試験場)ら	(名古屋大学)	(信州大学)ら	測:関口覧人(森杯総合研 究所)ら	- : 小林雪菜 (東京農業大学) ら	
14:30	N2 マツタケ発生不作 3 要	L10 土壌由来の Oscheius 属	F2 フモトミズナラとミズナラ	E11 秋田県生保内ブナ施業	J15 堆積岩斜面での土壌水	C11 森林とふれあいの場	
	発表取消	線虫のマツノマダラカミキリ幼 虫に対する接種試験:小澤壮	が側所的に分布する集団に おける形態形質の変異:玉	指標林における 47 年間の 天然更新過程: 杉田久志	分観測によって推定された 流出機構と水収支 : 小島永	"環境教育林"運営の現状 と課題-多摩森林科学園の	
	İ	太(国立研究開発法人 森林	木一郎(岐阜県立森林文	(元森林総合研究所)ら	裕 (滋賀県琵琶湖環境科	事例:井上真理子(森林総	
		研究・整備機構 森林総合 研究所 東北支所)ら	化アカデミー) ら		学研究センター) ら	合研究所) ら	
14:45	N3 クロモジのソーラーシェ	L11 Heterorhabditis 属線虫	F3 無花粉スギ「爽春」の	E12 天然生混交林の択伐	J16 山地流域における豪雨	C12 サンブスギを題材とし	
	アリング作物としての可能	の共生細菌のマツノマダラ カミキリに対する殺虫活性	遺伝子を持つヘテロクロー	施業下におけるミズナラの	時の流出応答を過去のデー	た森林環境教育に基づく課 題研究の実践:森田直之	
	性の検討:高橋輝昌(千葉 大学)ら	:前原紀敏(森林総合研究	ン間における花粉形成の比 較: 平塚理恵(東京慈恵会	動態:吉田俊也(北海道大学)	タから評価する: 浅野友子 (東京大学)ら	(東京都立科学技術高等学	
		所)ら	医科大学)ら			校)ら	
15:00	討論・調整	L12 モデル線虫を用いてマ	討論・調整	討論・調整	討論・調整	討論・調整	
15:00	引品"阿笠	ツノザイヤンチュウの媒介	引冊 · 阿笠	計冊 · 調笠	計論 ・調金	計論・調整	
		昆虫認識メカニズムに迫る:					
		桐野巴瑠 (明治大学)ら					
15:15		討論・調整	F4 高木化したカラマツ採種	E13 異なる間伐を行ったヒノ キ人工林における幹成長と	J17 Bedrock groundwater responses and its contribution to	C13 野外炊事で育てられる 災害時に役立つ力: 廣松桜	
			木の種子生産: 二本松裕太 (長野県林業総合センター)	葉量回復の比較: 宮本和樹	runoff generation processes in	侑 (北海道教育大学岩見	
			6	((国研)森林研究・整備 機構 森林総合研究所)ら	headwater catchments: NguyenThi	沢校)ら	
					My Linh (University of Agriculture and Technology) 6		
15:30		L13 栽培アラゲキクラゲか ら検出された線虫の伝播者	F5 マツノザイセンチュウ抵 抗性クロマツ品種の育種基	E14 ヒノキ人工林における 幹成長のばらつきの評価:	J18 堆積岩山地における基 岩の透水性および保水性	C14 自然体験活動が小学 生のレジリエンスに与える	
		ら極出された緑虫の伝播者 について:津田格(岐阜県	が性グロマツ品種の育種基 本区横断的な抵抗性評価	軒放長のはらつさの評価: 河野士竜 (兵庫県立大学)	岩の透水性おより保水性 についての考察:正岡直也	生のレンリエン人に与える 影響:若狹郁実(北海道教	
		立森林文化アカデミー)	: 松永孝治 (森林総合研究	// 对工电 (天库水立八子/	(京都大学)ら	育大学岩見沢校)ら	
			所林木育種センター九州育 種場) ら				
15:45		L14 寄生生物観察のため	F6 コンテナへ直插LLたス	討論・調整	J19 堆積岩山地における湧	C15 森林教育活動の効果	
10.10		のスズメバチ越冬女王の飼	ギさし穂への施肥による成	11 1 1111 11-12 TE	水点分布と地形・地質の関	検証に関する研究法の課題	
		育:小坂肇(森林総合研究 所)ら	長促進効果: 大平峰子(森 林研究・整備機構森林総		係:稲岡諄(京都大学)ら	: 山田亮(北海道教育大学 岩見沢校)	
		1117 3	合研究所林木育種センタ			4350/(12)	
10.00		1.15 微地形 1. 林 牛 小 木 牡 中	一) ら =+==- =================================		討論・調整	=+9A . ≘m #V	
16:00		L15 微地形と植生は森林昆虫の捕食圧を不均一にす	討論・調整		討論・調金	討論・調整	
		る: 中辻宏平(東京農工大					
		学)ら					
16:15		討論・調整					
16:30							
16:45							
17.00							
17:00							
17:15							
							•

(如明即中部改革) 0月10月 左後 0/0

讲究発	:表題目(部門別)	□ 頭発表) 3月10	D日 午後 2/2				
会場	413	431	432	441	442	443	533
13:00							
13:15			ポ .	スター発表コアタィ	'		
13:30				, v, 3034-771			
13:45							
14:00	風致・観光 3	林政 4	利用 2	経営 4	植物生態 2		学会企画 5
14:15	B13 人々はどの程度暑いと 都市緑地・近郊林への訪 問行動を変化させるのか? : 庄子康(北海道大学)ら	A25 森林認証取得が事業 体に及ぼした変化一浜松市 の事例一: 松本清貴(名古 屋大学大学院)ら	K9 作業道の路面材料としての木質パイオマス発電由来クリンカアッシュの効果:鈴木保志(高知大学)ら	D30 UAV及び航空機レーザ計測による高密度点群を 用いたエリアベース樹種判別:星川健史(静岡県立農林環境専門職大学)ら	H7 ヒノキ人工林における定 点撮影画像を用いた落葉フェノロジー推定手法の開発 : 花谷周亮 (兵庫県立大学 大学院) ら		中等教育連携推進 高校生ポスター 表彰式
14:30	B14 高温は都市緑地・近郊林の訪問者数を変化させたか:ビックデータによる解析: 若山茉央(北海道大学)ら	A26 日本の木材市場における価格伝達に関する計量時系列分析: 樋熊悠宇至(森林総合研究所)	K10 産業連関分析による木製治山ダム建設の温室効果ガス排出量:藤田智郁(秋田県立大学)ら	D31 UAV 画像と深層学習に よるマツ枯れ被害木の検出 : 小林裕之(富山県農林水 産総合技術センター)	H8 順次展業するダケカン バ幼樹の総一次生産と業群 形質の関係: 柘橿匡(筑波 大学大学院)ら		
14:45	B15 他の趣味と比較した森 林散策とメンタルヘルスとの 関連: J-MICC 大幸研究: 森田えみ((国研)森林研究・整備機構 森林総合研 究所)ら	A27 神奈川県相模原市青 根地区および鳥屋地区にお ける拡大造林の実態: 松本 滉成(東京農工大学大学 院)ら	K11 ボトムアップ推計による市区町村別木質バイオマスポテンシャルの分布特性: 小野遼河(東北大学大学院)ら	D32 周囲測量を考慮した各種計測機器の精度と時間の 比較: 今岡竜希(島根県立農林大学校)ら	H9 異なるマイクロハビタット間でのコケモモのシュート成長や葉特性の違い: 井上みずき(日本大学文理学部)ら		
15:00	討論・調整	討論・調整	討論・調整	討論・調整	討論・調整	学会企画 6	
15:15	B16 山村の雑穀栽培及び 利用方法の把握一石川県 白峰の3種類の雑穀を事 例に一:上田隆太郎(名古 屋大学大学院)ら	A28 発表取消	K12 地域における未利用森林パイオマス資源の効率的な供給システムの検討:黒田浩太郎(東京大学大学院)ら	D33 デジタル航空機写真測量によるスギ林の林分材積推定:小谷英司(森林総合研究所)	H10 Variations in seed dispersal in terms of landscape scale: a study from a temperate forest: WijenayakePavithra (Forestry and Forest Products Institute)	日林誌のウラガワ	
15:30	B17 森林の多面的機能の 経済評価: 豆野皓太 (東北 大学)ら	A29 連合国占領下の京都 市におけるゴルフ場建設と 京都大学上賀茂試験地の 移転: 坂野上なお(京都大 学)	K13 3次元レーザーを用いた樹形特徴の聴覚的表現 手法の確立: 笠原真珠(千葉大学)ら	D34 衛星データと深層学習 を用いた、全県森林変化域 検出の試み 3: 渡邉学(東 京電機大学)ら	H11 天然林におけるヒノキ の種子生産とカメムシ類に よる吸汁被害の年変動: 野 口麻穂子(森林総合研究 所東北支所)ら		
15:45	B18 福木屋敷林の持続可能な保全—生態系機能評価と管理手法の確立:陳碧霞(琉球大学)	A30 近代東アジアへの林学 普及におけるアメリカの影 響と特徴:平野悠一郎(森 林総合研究所)	討論・調整	D35 The global deforestation overview: A high-resolution perspective: NguyenTien Hoang (Research Institute for Humanity and Nature)	討論・調整		
16:00	討論・調整	討論・調整		討論・調整			
16:15							
16:30							
16:45			閉会式				
17:00			123 344 444				
17:15							

研究発表題目(学会企画)3月11日

研究発	表題目(学会企画	画)3月11日
会場	313	331
開始時刻	学会企画 7	
12:00		
12:15	社会連携	
12:30	森林科学を学んだらどんな 仕事があるのか? Part2	
	江争かめるのか、 France	
12:45		
		学会企画 7
13:00		
13:15		
13.13		
13:30		
13:45		
10.10		
14:00		
14:15		
		社会連携
		森林・林業分野 職業研究会
14:30		コアタイム 13:00 — 15:00
		16:00 撤収
14:45		
15:00		
15:00		
15:15		
15:30		
15:45		
16:00		
40.4-		
16:15		

研究発表題目(ホスター)	発表)			
材	苏政	風致・観光	教育	経営
3/8 掲示分	PA-16 中山間地域等直接支払制度による 限界的農地の林地化:大分県竹田市の 事例:御田成顕(森林総合研究所東北支 所)ら	3/8 揭示分	3/8 掲示分	3/8 掲示分
PA-1 # アンケート調査による森林カーボンクレジットの購入動機の分析: 渡邊匠海(新潟大学)ら	PA-17 地方政府はなぜ林業公社を廃止しなかったのか: 泉桂子 (岩手県立大学)	PB-1 # 都市部の小公園が有するエコロ ジカルネットワーク機能の経済的価値評価 :大谷里菜(京都大学)ら	PC-1 # 森林環境教育にみる白神山地の 活用の可能性:西連寺麻友(日本大学大学院)ら	PD-1 # カンボジアにおける森林景観構造の時空間解析: 趙惠敏 (九州大学) ら
PA-2 # 造林立地と主伐・再造林率の関係— 2010 年代後半の 3 道県データを基に一: 上野竜大生 (九州大学院生物資源環境科学府) ら	PA-18「官報」に報告された明治期日本 の森林被害:高畑義啓(森林研究・整備 機構 森林総合研究所)	PB-2 # 国定公園の計画策定過程における関係者間の協議・協力の実態について: 谷田康一(滋賀県立大学院)ら	PC-2 # 高尾山自然休養林における教育 の場としての検討: 植竹宗雄(日本大学 大学院)ら	PD-2 # 九州における再造林放棄地の約 20年後の再造林・天然更新状況とその 要因: 教重涼子(九州大学)ら
PA-3 # 森林管理における公民連携手法の比較:国有林分収造林と公社造林を中心に:陳田 (東京大学)ら	PA-19 Revaluation of manmade rivers in early modern times in Japan: Goyogawa River, Utsunomiya City: 山本美穂(宇都 宮大学)	PB-3 # 伊豆大島における地域住民による自然環境の保全活動の参加要因: 渡邊 寛明(筑波大学)ら	PC-3 # アニメーションを使った熱帯林保 全のための環境教育の構築と評価: 趙畠 (鳥取大学) ら	PD-3 # 統計的因果推論に基づく保安林 が皆伐に与える影響の評価:古田光樹 (九州大学)ら
PA-4 # FSC 認証紙製品の価格プレミアム発生に関する検証:選択型実験を用いて: 富塚雅之(京都大学)	PA-20 防護柵事業を森林施業に組み込むための要件: 高柳敦(京都大学)	PB-4 # 日本における樹木葬のための森 林管理: 尤暁安(東京大学)ら	PC-4 # 西多摩地区の二つの中学校における森林に関する認識の比較: 木谷光希(日本大学)ら	PD-4 # 再造林率が木材生産と炭素放出 発表取消
PA-5 # 森林組合と福祉事業体による林 福連携の成立可能性: 保積和奏(京都大 学)	PA-21 林業現場で語り継がれる口伝: 奥山洋一郎 (鹿児島大学) ら		PC-5 # 郷土料理に使われている特用林 産物には何があるのか?:米澤奏(日本 大学)ら	PD-5 # Impact of the Indonesian capital relocation on watershed ecosystem services: GizawiAgie (三重大学) ら
PA-6 # 野生動物管理の政策ネットワーク可視化:言説ネットワークが折の可能性:古賀達也(京都大学大学院)	PA-22 森林経営の統合的評価枠組みの開発: 峰尾恵人(京都大学)ら	3/10 掲示分	PC-6 # 伝統的工芸品にみる森林資源を活用する課題: 小林龍樹 (日本大学) ら	PD-6 # カンボジアにおけるコミュニティ林 業による森林保全効果の要因解析: 小野 田深(九州大学)ら
PA-7 # 民有保安林の持続可能性 [*] 鳥取 県を事例に [*] : 小林伸太朗(鳥取大学)ら	PA-23.木質バイオマス発電の社会的な費 デ 発表取消	PB-5 ツシマヤマネコ生息地における里山 利用の実態と変遷:安達湧吾(日本大学 大学院)ら	PC-7 # 木育教室「海岸防災林を構成する樹木の特性を学ぶ」の開発・実施・評価:大西春帆(長野大学)ら	PD-7 # 栃木県鹿沼市における ALS データを活用した森林の多面的機能評価: 菊地真以(宇都宮大学大学院)ら
PA-8 # Comparative Analysis of Stakeholder Consciousness on Logging Using AHP: choiteaheon (Kangwon University) §	PA-24 川瀬善太郎『林政要論』改訂版 草稿をめぐって: 古井戸宏通(東京大学) ら	PB-6 長野県阿智村における地域行事に 使われる生物資源: 小林弘樹 (日本大学 大学院) ら	PC-8 # 林業大学校で学ぶ学生の変化ーコロナ拡大前とコロナ禍の比較一:小川高広(京都大学大学院)	PD-8 # シミュレーションによる空中ビッターリッヒ法の検討: 小澤瑞樹(近畿大学大学院)ら
PA-9 # 福島県内の放置竹林実態: 兼子 喜史(福島大学)ら		PB-7 樹種分布による GIS を用いた遊歩 道設計:黒瀬海晴(京都府立大学大学 院)ら	PC-9 学校林植栽樹種の教育目的:田中 千賀子(武蔵野美術大学)ら	PD-9 # 立地環境に基づく地位指数推定 手法の比較検証:上岡洸太(京都府立大学)ら
PA-10 # 国立公園の整備費用のあり方 に関する研究: 竹内祐輔(福島大学)ら		PB-8 六甲山の森林管理をめぐるステークホルダーの関心事項の分析:田畑智博(神戸大学)ら	PC-10 ケニア・エランガタウワスのマサイ 族集落における社会林業の取り組みと成 果:中山紘之(岡山理科大学)ら	PD-10 # Exploring the Relationship between Organic Carbon and Soil Properties in Japanese Cedar Plantations: チョーウィン (The University of Tokyo) ら
PA-11 # 三宅島の富賀神社大祭から考える防災コミュニティの構築: 小川夏帆 (東京農業大学)ら		PB-9 森林ウォーキングによる身体的影響 - 心拍変動解析を用いた評価の試み: 松 原恵理(国立研究開発法人 森林研究・ 整備機構 森林総合研究所)ら	PC-11 大学農場における短時間の里山 実習の成果と限界: 倉本宣 (明治大学) ら	PD-11# 勾配間は処理におけるセルロ 発表取消
PA-12 #「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」の効果と問題点: 倪寛 (東京大学)ら		PB-10 観光資源としてのワサビの現状と 課題:田中伸彦 (東海大学)ら		PD-12 # ブナ天然林における UAV LiDAR を用いた LAI 計測手法の比較・検 証: 仮屋園純平(東京大学大学院)ら
		PB-11 土地所有からみたヨーロッパ諸国 における都市林の生成と発展: 胡睿喆 (東京大学)ら		PD-13 # UAV-LiDAR データを活用した 林内日射量と林床面蒸発の推定:高村詩 央里(筑波大学)ら
3/10 掲示分		PB-12 狭山丘陵のコナラニ次林における ナラ類集団枯損の動態:平塚基志(早稲 田大学)ら		PD-14 # Application of UAV-LiDAR data in analyzing the allometric relationships of over a hundred tree species across Japan: HTOOKyaw Kyaw (Kyoto University) 5
PA-13 県立森林公園のパリアフリー化と その利用の現状:高田乃倫予(岩手大学)				PD-15 # UAV-LiDAR を用いたカラマツの 単木樹幹検出と自動計測:ヤンカメイ(東京大学)ら
PA-14 田上山の森林伐採による生態系サービスへの影響: InVEST による推定: 高橋卓也 (滋賀県立大学) ら				PD-16 # 無人へリLiDARによる若齢林 の森林資源量推定:小林紀晴(宇都宮大 学農学部)ら
PA-15 学際研究プロジェクト「森林の価値とは一森と生きるひとと社会の未来像一」: 大手信人(京都大学)ら				PD-17 # ラジコンヘリ LIDAR データを用 いたプナ林の単木情報解析: 許明琪 (新 湯大学) ら
	1	l	l	

UAV 空機画像の相対的位置統合:大槻 検介(名古屋大学)ら	53 小型のパックパック型 LiDAR 計測 テムによる森林計測データの検証:土 介((地独) 大阪府立環境農林水産 研究所)ら 54 地上型 3D レーザースキャナを用 スギ根元曲がり木の評価: 図子光太 富山県農林水産総合技術センダー森 究所) 55 ドローン LiDAR と地上 LiDAR を組 わせた森林生態学研究の新展開: 竹 ー (京都大学)ら 56 UAV-LiDAR を使った全国各地の 観察林の樹冠調査: 小野田雄介(京 学)ら	3/8 掲示分 PE-1 # ミズナラ若齢林の保育:成長と樹形に着目した種内・種間競争の影響解析:原谷日菜(北海道大学)ら PE-2 # 間伐年度の違いと下刈りの有無がプナ当年生実生の生存・成長に与える影響: 庄司風(新潟大学)ら	PE-16 切り残した幹の伐採がコナラ萌芽 枝の生残と成長に与える影響:伊藤幸介 (新潟県森林研究所) ら PE-17 北海道の針葉樹人工林に生育する 広葉樹の本数・材積に影響する要因:大 野泰之(北海道立総合研究機構林業試 験場) ら PE-18 スギ幼齢植栽木における枝分布と 成長の関係 - 複数系統間での比較一: 伊藤哲(宮崎大学) ら
PD-18 # 植栽地時系列比較のためのUAV 空場画像の相対的位置統合:大規峻介(名方屋大学)ら Windows Land Use and Land Cover Classification of Mangrove Area in Myamar Using Deep Learning and Remote Sensing Dataset: Win Sithu Maung (The University of Tokyo) ら Windows Mindows Mind	テムによる森林計測データの検証:土 介(他独)大阪府立環境農林水産 研究所)5 4 地上型 3D レーザースキャナを用 スギ根元曲がり木の評価: 図子光太 富山県農林水産総合技術センター森 究所) 55 ドローン LiDAR と地上 LiDAR を組 わせた森林生態学研究の新展開: 竹 一(京都大学)ら 60 UAV-LiDARを使った全国各地の 観察林の樹冠調査:小野田雄介(京	3/8 掲示分 PE-1 # ミズナラ若齢林の保育:成長と 樹形に着目した種内・種間競争の影響解 析:原谷日菜(北海道大学)ら PE-2 # 間伐年度の違いと下刈りの有無 がブナ当年生実生の生存・成長に与える	PE-16 切り残した幹の伐採がコナラ萌芽 核の生残と成長に与える影響:伊藤奉介 (新潟県森林研究所)ら PE-17 北海道の針葉樹人工林に生育する 広葉樹の本数・材積に影響する要因:大 野泰之 (北海道立総合研究機構林業試 験場)ら PE-18 スギ幼齢植栽木における枝分布と 成長の関係 一複数系統間での比較一:
UAV 空機画像の相対的位置統合: 大槻 峻介(名古屋大学)ら	テムによる森林計測データの検証:土 介(他独)大阪府立環境農林水産 研究所)5 4 地上型 3D レーザースキャナを用 スギ根元曲がり木の評価: 図子光太 富山県農林水産総合技術センター森 究所) 55ドローン LiDAR と地上 LiDAR を組 わせた森林生態学研究の新展開: 竹 一(京都大学)ら 60 UAV-LiDARを使った全国各地の 観察林の樹冠調査:小野田雄介(京	PE-1 # ミズナラ若齢林の保育:成長と 樹形に着目した種内・種間競争の影響解析:原谷日菜(北海道大学)ら PE-2 # 間伐年度の違いと下刈りの有無 がブナ当年生実生の生存・成長に与える	技の生残と成長に与える影響:伊藤幸介 (新潟県森林研究所) ら PE-17 北海道の針葉樹人工林に生育する 広葉樹の本数・村積に影響する要因:大 野泰之(北海道立総合研究機構林業試 験場) ら
および SfM-MVS による画像解析の活用: 小笠原良(京都大学)ら PD-20 # Detecting high-value hardwood trees using deep learning algorithm with unmanned aerial vehicle (UAV) imagery: トウンニョミイ (The University of Tokyo) ら PD-21 # Estimating structural parameters of a complex mixed conifer-broadleaf forest using (DAV photogrammetry: カリテイケスシェイ・イナン(Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo) ら PD-22 # 深層学習を用いた高解像度 UAV 画像からの広葉樹の樹種分類: 大原 圭太郎(島根大学)ら PD-23 # 汎用 CNN を用いたドローン空 提画像からの庶葉樹の樹種分類: 大原 基準の再検討〜音像植構 森林総合研究所) 方面 表別 で、整備機構 森林総合研究所) 方面 表別 で、一般 表別 を表別 で、一般 表別 を表別 で、一般 表別 を表別 で、一般 表別 で、一般 表別 で、一般 表別 で、一般 表別 を表別 を表別 を表別 を表別 を表別 を表別 を表別 を表別 を表別	スギ根元曲がり木の評価:図子光太 富山県農林水産総合技術センター森 究所) 55ドローン LIDAR と地上 LIDAR を組 わせた森林生態学研究の新展開: 竹 一 (京都大学)ら 56 UAV-LIDAR を使った全国各地の 観察林の樹冠調査:小野田雄介(京	樹形に着目した種内・種間競争の影響解析:原谷日菜(北海道大学)ら PE-2#間伐年度の違いと下刈りの有無 がブナ当年生実生の生存・成長に与える	広葉樹の本教・村積に影響する要因:大野泰之(北海道立総合研究機構林業試験場)。 PE-18 スギ幼齢植栽木における枝分布と 成長の関係 一複数系統間での比較一:
umanned aerial vehicle (UAV) imagery: トゥンニョミイ (The University of Tokyo) ら PD-21 # Estimating structural parameters of a complex mixed conifer-broadleaf forest using IAV photogrammetry. カリテイケスシェイッ(ナン (Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo) ら PD-22 # 深層学習を用いた高解像度 UAV 画像からの広葉樹の樹種分類: 大原主太郎 (島根大学) ら PD-23 # 汎用 CNN を用いたドローン空 提画像からの照葉樹種判別: 大中昭徳 (高知大学) ら PD-24 # 学習方法の違いによる深層学習モデルを用いたニヌ次元スキ樹冠抽出精度の評価: 相原直生 (宮崎大学大学院) ら PD-24 # 学習方法の違いによる深層学習モデルを用いたニヌ次元スキ樹冠抽出精度の評価: 相原直生 (宮崎大学大学院) ら PD-25 # 航空機 LiDAR データを用いた PD-61 鳥取県における加速が活性化に向けた活動・朝藤キャンメスポマルシェー・佐藤孝吉(東京農業大学)ら	一(京都大学)ら 56 UAV-LiDAR を使った全国各地の 観察林の樹冠調査: 小野田雄介(京	PE-2 # 間伐年度の違いと下刈りの有無 がプナ当年生実生の生存・成長に与える 影響: 庄司風 (新潟大学) ら	成長の関係 一複数系統間での比較一:
of a complex mixed conifer-broadleaf forest using IAV photogrammetry. カリティゲスジェヤバナン(Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo)ら PD-22 # 深層学習を用いた高解像度 UAV 画像からの広葉樹の樹種分類: 大原 主太郎(島根大学)ら PD-38 代採の空間分布に関する県ごとの PD-38 代採の空間分布に関する県ごとの PD-38 代採の空間分布に関する県ごとの PD-38 代採の空間分布に関する県ごとの PD-38 株材・整備機構 森林総合研究所)ら 所用: Techr を開動像からの照葉樹種判別: 大中昭徳 基準の再検討~皆伐面積上限について: 清上展也(九州大学)ら PD-41 県市・大学館 電モデルを用いた三次元スキ樹冠抽出精度の評価・相原直生(宮崎大学大学院)ら PD-41 県東県における山地災害性化に 向けた活動・朝藤キャンメスポマルシェー:佐藤孝吉(東京農業大学)ら 皮軽管 ちる (アラン5 # 航空機 LiDAR データを用いた PD-41 県東県における山地災害リスクを PD-61	観察林の樹冠調査:小野田雄介(京		
主太郎(島根大学)ら 森林研究・整備機構 森林総合研究所)ら 森林研究・整備機構 森林総合研究所)ら 応用: Techr PD-23 # 汎用 CNN を用いたドローン空 援画像からの照葉樹種判別: 大中昭徳 「高知大学)ら 基準の再検討〜皆伐面積上限について: 溝上展也(九州大学)ら UAV: 大学 アロー24 # 学習方法の違いによる深層学 智モデルを用いた三次元ス子樹冠抽出精度の評価: 相原直生(宮崎大学大学院)ら PD-40 森林資源を活用した地域活性化に PD-5 要配 で で を で で で で で で で で で で で で で で で で		PE-3 # 挿し床を変えた水挿しにおける挿 し穂の成長:戸田翔子(東京農業大学) ら	PE-19 茨城県のヒノキ人工林における列 状間伐、下層間伐後の成長と生存:太田 敬之(森林総合研究所)ら
撮画像からの照葉樹種判別:大中昭徳 (高知大学)ら 基準の再検討~皆伐面積上限について: 大学服	57 DF LAT: UAV-LiDAR データから 林用点群処理ソフトウェアの開発と : 大西信徳(京都大学 /DeepForest inologies 株式会社)ら	PE-4 # 多摩地域の人工林での天然更新 による広葉樹の導入: 新井勝利(東京農 工大学)ら	PE-20 海岸砂丘地に植栽した広葉樹に対するクロマツ保護樹の効果: 山中啓介(鳥取大学)ら
習モデルを用いた三次元スギ樹冠抽出精 向けた活動・朝霧キャン×スポマルシェ 度航空 原の評価: 相原直生(宮崎大学大学院) ら - : 佐藤孝吉(東京農業大学)ら ちる (58 森林域における RTK-GNSS 搭載 測量の位置精度 : 加治佐剛 (鹿児島 農学部) ら	PE-5 # 東京都東久留米市の高齢化した 雑木林における伐採後の萌芽状況: 伊澤 麻里(自由学園最高学部(大学部)) ら	PE-21 ヘリコプターによる殺そ剤散布とエ ゾヤチネズミの駆除効果: 南野一博 (道 総研 林業試験場) ら
PD-25 # 航空機 LiDAR データを用いた PD-41 鳥取県における山地災害リスクを PD-60	59 森林境界明確化事業における高密空レーザ測量データの活用: 滝澤み (株式会社パスコ) ら	PE-6 # 放置広葉樹林の再生 - 萌芽更新の可能性 -: 森田惇平(福島大学)ら	PE-22 岩手県でのアカマツ林の樹種転換: 皆伐5年後の天然更新区とカラマツ植栽区:澤田佳美(国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所)ら
佐渡島の管理放棄スギ人工林抽出方法 の検討:佐藤楓(新潟大学大学院)ら 取県林業試験場)ら 研究用	30 航空機 LiDAR データによる人工林理状況の把握:高橋與明(森林総合所九州支所)ら	PE-7 # 遺伝子発現から見た酢酸による スギ苗の細根の吸水抑制機構の検討: 小 林裕子(東京大学大学院)ら	PE-23 大台ヶ原の防鹿柵内におけるササ の坪刈停止8年後のトウヒ稚樹の生残と 成長:木佐貫博光(三重大学大学院)ら
地形因子によるスキの地位指数推定の精 degradation and deforestation in two を用し	51 航空レーザ測量データと地形指数 いたスギ造林不適地の抽出: 千葉翔 ジ県森林研究研修センター)	PE-8 # モンゴル北部のカラマツ - シラカンバ林の混交状態とバイオマス: 飯田義人(信州大学)ら	PE-24 スギ人工林低密度植栽試験地における成長量と11 年次の応力波伝播速度:西原寿明(愛媛県農林水産研究所)ら
の推定─立地環境・樹冠情報との関係─ を加味した局所密度と単木の成長: 田中 析のた	32 航空レーザ測量による森林資源解 ための汎用胸高直径推定式作成:藤 一朗 (アジア航測株式会社)	PE-9 # ヒノキ人工林への堅果供給における野ネズミの貯食行動の貢献:田中湧也(静岡大学)ら	PE-25 異なるシカ生息密度環境下における植栽 9 樹種の成長動態:中川湧太(兵庫県立農林水産技術総合センター)ら
林構造指標を考慮した林相分類手法の検 把握手法の検討:北原文章(森林総合研 におに	33 航空機 Lidar による森林資源解析 ける DCHM の補正に関する検討:前 子(国際航業(株))ら	PE-10 # ミズナラニ次林における樽材適性を持つ個体の特性と育成の可能性:仲谷朗(北海道大学)ら	PE-26 スギコンテナ苗の根の伸長能力は 育苗に使用した容器によって異なる: 山中 豪 (三重県林栗研究所)
PD-29 # J- クレジット制度の森林モニタ リングにおける航空機 LiDAR の有用性: 陌間芳野 (新潟大学) ら	34 航空レーザデータによる作業道規 計測:鈴木秀典(森林総合研究所)	PE-11 # ビートパルブ給餌がシカ嗜好性 樹種の樹皮はぎ被害と個体群構造に与える影響: 多田雄治郎(東京農業大学)ら	PE-27 Germination and cultivation experiments for the production of seedlings of useful tree species in Malawi: 高橋一秋(長野大学)ら
LiDAR による竹林抽出精度評価:西山明 慶(名古屋大学)ら 継樹の成長と隣接後継樹エリアの検討: StriX 豊田信行(海岳森林技術士事務所) semar	35 Forest/non-forest mapping with X-band SAR images based on intic segmentation: 宇田拓史 (株式 Synspective) ら	PE-12 # キイチゴ類が繁茂した南アルブス大規模雪崩跡地の高木種実生の更新状況:永田紘夢(信州大学)ら	PE-28 若齢スギおよびヒノキ人工林における樹冠サイズからみた初回閉鎖タイミング: 山岸極 (国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所)
乱要因の推定:日本とミャンマーの事例 技術の体系化:田村美帆(株式会社竹谷 測精問	36 衛星画像による単木レベル森林計度の検討―航空機 LiDAR との比較 以本一清(名古屋大学)ら	PE-13 # ヒノキ林縁個体の1 次枝と2 次枝における心材と辺材の軸方向分布:伊藤太陽(信州大学)ら	PE-29 2・4成長期目のスギ植裁木に対するササ型と落葉広葉樹型植生の競合状況:安達直之(島根県)
PD-32 # 栃木県における衛星データの機 械学習分類による竹林分布モータリング: 清野咲花(宇都宮大学)ら 場所 (神馬県林業試験 場)ら 場所 (神馬県林業試験 場)	37 GEDI データによる森林資源量の : 小幡進午 (森林総合研究所)	PE-14 # 林冠が再閉鎖した壮齢ヒノキ人 エ林におけるムラサキシキブの樹形の構造特性:牧嵜遼詩(信州大学)ら	PE-30 シラビソ人工林帯状伐採地に植栽された広葉樹の成長: 長池卓男 (山梨県森林研)
おける竹林分布の把握: 内山優布奈(九 抑制のための方策: 石橋整司(東京大 林タイ	38 時系列 Landsat データを用いた森 イプ分類の試行: 田中真哉 (国立研 発法人森林研究・整備機構)ら		PE-31 下刈り方法の違いがカラマツ植栽苗の成長とシカ食害に及ぼす影響:池本省吾(鳥取県林業試験場)
PD-34 # Combining Graph and Convolutional Neural Networks with multisensor remote sensing for forest type classification: 慧卿裴(The University of Tokyo)ら	39 長期時系列空間データによる足尾 復旧過程モニタリング: 松英恵吾 (宇 大学)	0.4048 = 43	PE-32 鳥取県におけるスギ当年生コンテナ苗の初期成長:赤井広野(鳥取県林業
PD-35 # Forest Change Detection in Solomon Islands using Multi-temporal Satellite Data: BeuMcJessey Leon Brian (Niigata University) ら		3/10 掲示分	試験場)

研究発表題目(ポスター	発表)			
造	林		遺伝・育種	
PE-34 石川県におけるカラマツ人工林の現況:富沢裕子(石川県農林総合研究センター林業試験場)ら	PE-52 出荷適正サイズ維持のために切り 戻したブナ苗木の成長と樹形への影響: 田中樹己 (新潟県森林研究所) ら	3/8 掲示分	PF-18 関西育種基本区におけるヒノキさし 木植栽試験: 磯田圭哉 (森林総合研究所 林木育種センター関西育種場) ら	PF-35 グイマツの球果含水率と種子散布 との関係:生方正俊(国立研究開発法人 森林研究・整備機構森林総合研究所)ら
PE-35 低密度植栽における節及び枝の状況: 松本純 (大分県)	PE-53 令和4年における北部九州産ブナ種子の生産量および健全度:作田耕太郎 (九州大学)ら	PF-1 ヒノキのゲノム編集に向けた遺伝子組換え系の効率化:小長谷賢一(森林研究・整備機構)ら	PF-19 # 高標高地におけるサワラの繁殖 様式の推定: 村田幸哉(名古屋大学)ら	PF-36 関東育種基本区ヒノキ精英樹クロ ーンのジベレリン処理による雄花着花量 評価: 坪村美代・包立研究開発法人 森林研究・整備機構、森林総合研究所) ら
PE-36 九州産スギ6品種の地上部一次生産量と窒素利用: 榎木勉(九州大学)ら	PE-54 半島マレーシアの生態系修復植林 地における植栽木の 20 年間の成長: 米 田令仁(森林総合研究所)ら	PF-2 # CRISPR-Cas9 ゲノム編集による miRNA156a/168a の発現抑制: 岡部信(東京大学)ら		PF-37 若齢時におけるスギ特定母樹のジベレリン処理による雄花着生性: 宮下久哉 (国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター関西育種場) ら
PE-37 山梨県におけるスギの樹高成長曲線の修正: 長谷川喬平(山梨県森林総合研究所)ら	PE-55 100 年生ヒノキ人工林における材 積成長: 石井弘明(神戸大学)ら	PF-3 多様なスギ系統の成長形質と相関 のある発現遺伝子と遺伝的変異の検出: 永野聡一郎(森林研究・整備機構)ら	3/10 掲示分	PF-38 スギ閉鎖型採種園における時期別 ジベレリン処理による雄花着花数: 庄司優 太(島根県中山間地域研究センター)
PE-38 ALS データと機械学習を利用した 樹高推定にもとづく新たな地位マップ: 壁 谷大介(森林総合研究所)ら	PE-56 スギ採種園で異なる母樹個体から 採取した種子の特性:藤井栄(徳島県立 農林水産総合技術支援センター)	PF-4 # 異なる期間の土壌乾燥ストレスに 対するブナ実生の発現変動遺伝子の探索 : 青日菜子(三重大学)ら	PF-20 ブナ林冠木の局所集団における一 塩基多型の分布様式:鳥丸猛(三重大 学)ら	PF-39 スギミニチュア採種園の植栽木の根系および窒素含有量: 宮本尚子(森林林総合研究所林木育種センター東北育種場) ら
PE-39 茨城県中部の造林地において斜面 位置によるスギ苗木の成長の違いとその 要因:齋藤隆実(国立研究開発法人森林 研究・整備機構森林総合研究所)ら		PF-5 日本の主要高木種の遺伝的適応: 空間分布と温暖化影響予測:内山憲太郎 (森林総合研究所)ら	PF-21 生育環境の違いによる 染井吉野 の全ゲノムメチル化比較: 松本麻子 (国研 森林総合研究所) ら	PF-40 根域抑制栽培したヒノキ少花粉品種の種子生産について: 西川浩己(山梨県森林総合研究所)ら
PE-40 オノエヤナギの伐採時期および伐 採方法が萌芽発生量に与える影響: 矢野 廃介(国立研究開発法人 森林研究・整 備機構 森林総合研究所 林木育種セン ター 東北育種場)ら		PF-6# 候補遺伝子アブローチを用いた ブナ集団における自然選択の探索:佐藤 駿祐(名古屋大学大学院)ら	PF-22 自然集団での雑種崩壊の理解に 向けたサクラ属実生における遺伝子発現 解析:鶴田燃海(森林総合研究所)	PF-41 エゾマツ交配圏における着果の状況 -
PE-41 持続的な広葉樹林施業を目指して 資源量から伐採・搬出・更新を考える: 齋藤智之(森林総合研究所 東北支所)ら		PF-7 タカネザクラ集団の環境適応遺伝変異の空間モデリング:加藤珠理(多摩森林科学園)ら	PF-23 カラマツ着花変異系統を用いた雌 花着花に関わる遺伝子座の探索: 三嶋賢 太郎(森林終合研究所 林木育種センタ - 東北育種場)ら	PF-42 山形県内に造成した花粉の少ない スギ品種による採種園の種子生産性: 宮 下智弘(山形県森林研究研修センター) ら
PE-42 流域界ごとの環境不均一性とスギ 樹高成長:中尾勝洋(森林総合研究所)		PF-8 # Genome Wide Association Study for growth traits using teak progeny trial at Ngawi, Indonesia: MeinataAlnus (University of Tsukuba) B	PF-24 針葉トランスクリプトームの季節変化におけるグイマツ雑種 F, の特性:福田陽子・国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター 北海道育種場)ら	
PE-43 半島マレーシアにおけるフタバガキ 科樹木の葉と材の形質特性と成長の関係 : 田中憲蔵(国際農林水産業研究センター)ら		PF-9 # 熱帯アジア有用樹種・チークの 遺伝構造と遺伝的環境関連性の解明: 小 沼佑之介(筑波大学大学院)ら	PF-25トランスクリプトーム解析からみた 耐乾性の異なるスギ系統の乾燥応答の違 い、能勢美峰((国研)森林研究・整備 機構森林総合研究所 林木育種センター) ら	
PE-44 ウダイカンパの定着が豪雪地に 植栽したブナに及ぼす影響: 沼宮内信之 (秋田県林業研究研修センター) ら		PF-10 # 磐越地域に分布するクロモジ 2 変種の遺伝構造と葉の形態: 吉川太一(新潟大学大学院)ら	PF-27 核 SSR マーカーに基づく九州の第二世代ヒノキ交配園における交配実態: 岩泉正和(森林総合研究所林木育種センター九州育種場)ら	
PE-45 林冠ギャップ形成後の低木層による被陰はブナ天然更新を阻害するのか?: 柴田嶺 (新潟大学)ら		PF-11 多検体全ゲノムが描くミズナラーコナラ交雑帯の遺伝的ダイナミクス: 伊藤僚祐(京都大学)ら	PF-28 ヒノキの薬剤感受性に関する遺伝学的研究: 平尾知士(森林総合研究所林木育種センター)ら	
PE-46 落下した球果から採種したコウヨウザン種子の発芽率: 藤田徹(京都府農林水産技術センター)		PF-12 # 近畿地方の里山林に生育する コナラの遺伝構造:三上夏生(東京大学) ら	PF-29 スギ広域産地試験地における植栽 5 年次までの生存・成長: 三浦真弘 (国 立研究開発法人森林研究・整備機構) ら	
PE-47 ヒノキ植栽地の枝条積みが広葉樹の侵入に及ぼす影響: 字敷京介(岐阜県森林研究所)ら		PF-13 # カエデ属 Palmata 節 6 種の秩 父山地における葉緑体 DNA の種間及び 種内変異: 戸口侑紀(日本女子大学大学 院)ら	PF-30 全国 5 箇所のアカマツ産地試験地 における植栽後 5 年の成長特性: 那須仁 郊、(国立研究開発法人森林研究・整備機 構森林総合研究所林木育種センター東北 育種場)ら	
PE-48 秋施肥がスギコンテナ苗の耐凍性と翌春の成長に及ぼす影響:飛田博順(森林総合研究所)ら		PF-14 葉緑体 DNA シーケンスによるキハ ダの系統地理: 福永路子 (国立研究開発 法人森林研究・整備機構 森林総合研究 所林木育種センター) ら	PF-31 スギ雪圧害抵抗性検定林の 10 年 次データを用いた解析: 井城泰 (森林 総合研究所林木育種センター東北育種 場)ら	
PE-49 自記式デンドロメーターによる漆掻き個体木幹周囲長の日変化と季節変化: 白旗学(岩手大学)ら		PF-15 # 日本国内で見られるキリ属植物 の遺伝的多様性: 長沢和(宇都宮大学大 学院)ら	PF-32 アカエゾマツの根元曲がりと幹曲が りの抵抗性に家系間差が生じる要因:花 岡創(静岡大学)ら	
PE-50 雑草木との競合下におけるスギ植 栽木の成長に及ぼす被除樹冠量の影響: 山川博美(森林総合研究所九州支所)ら		PF-16 グイマツ雑種 F, の挿し木増殖における多年生台木から採取した枝の発根率:中川昌彦(北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場)	PF-33 マツ村線虫病被害地から選抜した アカマツ抵抗性候補木の材質形質の評価 : 丹羽花恵(岩手県林業技術センター)ら	
PE-51 壮齢スギ人工林における収穫間伐後 15 年間の下層植生の変化:塚原雅美 (新潟県森林研究所)ら		PF-17 # センダン挿し木を利用した難発 根性要因の検証: 室永藤子 (九州大学) ら	PF-34 9年生スギエリートツリーと従来種苗との応力波伝播速度の比較:田口裕人(愛媛県農林水産研究所林業研究センター)ら	

研究発表題目(ポスター)	発表)		1	
	生理		植物生態	
	PG-18 # STS 処理によるエチレン作用阻	PG-34 炭水化物の季節変化から読み解		PH-18 # 自然性の高い緑化地創出に向
3/8 掲示分	害がヒノキ科樹木の幹の傷害応答に及ぼ す影響: 竹田真子(鳥取大学大学院)ら	く常緑広葉樹における繁殖戦略: 韓慶民 (国立研究開発法人森林研究・整備機構)	3/8 掲示分	けた緑化地と周辺天然林の森林構造比較 : 奥山颯大 (神戸大学) ら
		5		
PG-1 # 幹枝内クロロフィル量の樹種による違いと周皮透過率との関係: 岡田乃安	PG-19 # ユーカリ属における葉内ポリフェ ノール含有量の種間比較:永嶋春輝(東	PG-35 大気二酸化炭素濃度と菌根共生 がブナ実生の光合成能力に及ぼす影響:	PH-1 # シカ・イノシシ利用頻度の異なる ナラ枯れ被害地の更新可能性: 加藤大樹	PH-19 # 広葉樹における立地環境と分布 ポテンシャルの関係: 山下淳也(京都府
る違いと周皮透過率との関係: 岡田乃安 (静岡大学)ら	ノール含有量の種間比較:永嶋春輝(東京農工大学大学院)ら	赤路康朗(国立環境研究所)ら	(東京大学) ら	ポテンシャルの関係:山下淳也(京都府 立大学大学院)ら
PG-2 # 北方針広混交林2樹種の光合成電子伝達系に及ぼす高温下の光阻害: 松田侑樹(北海道大学)ら		PG-36 クロマツ穂木の成長特性へのマツ 属中間台木の影響:中島剛(青森県産業 技術センター林業研究所)	PH-2 # 佐渡島のスギ・ブナ混交林の過去30 年間における動態と攪乱の影響: 岡田柚佳 (新潟大学) ら	PH-20 # 多雪地スギ天然林の更新に枯 死根株が果たす役割: 井上大嘉(新潟大学)ら
田田園(小田屋)(丁))		וועוס ביי יווייאטוייטויי	山仙庄(初州八子) 5	77.5
PG-3 # ダケカンバにおける電子伝達速		PG-37 常緑樹の葉は落葉樹よりも強度が	PH-3 # シカの排除が樹木実生動態に及ぼす影響:密度依存性とニッチ分化に着	PH-21 # Topographical gradient of
度と気孔コンダクタンスの産地間変異の評価:中田修人(静岡大学)ら	3/10 掲示分	高いだけでなくより大きな変形に耐える: 梶野浩史 (東北大学)ら	ぼす影響:密度依存性とニッチ分化に着 目して:内藤英理香(東京大学)ら	structure and diversity of the woody plant community in a seasonally dry forest in Madagascar: 藤本悠太郎(京都大学)ら
				Madagascar: 膝本心入即 (京都入子) ら
PG-4 # Responses of cambium activity and xylem anatomy of Cryptomeria	PG-20 Eucalyptus camaldulensis の毛状 根形質転換系の確立: 田原恒 (国立研究		PH-4 # 奥秩父山地におけるシカ食害後 の下層植生回復に対する光強度とシカ柵	PH-22 # 佐渡島におけるブナとスギの生育場所の環境要因について: 岡田航大
japonica clonal cultivars to experimental warming: 内山クリスマス (Kobe	開発法人森林研究・整備機構)ら		の効果:蛭間英恵(千葉大学)ら	(新潟大学)ら
University) 6	DO 04 1911 WYRATH T-F 1711 - 1		DU 5 // 2 ト京内内 // In 1.7 上海の第八	
PG-5 # 幹表面における見かけの呼吸商 と樹液流による CO₂ 輸送量の比較: 齋藤 彼方(静岡大学)ら	PG-21 一過的発現解析系を用いたユーカ リの加水分解性タンニン生合成遺伝子の 探索: 山溝千尋(国立研究開発法人 森		PH-5 # シカ高密度化による土壌の養分・ 水分条件の変化が林冠木の成長に及ぼ す影響:長根由紀子(酪農学園大学)ら	PH-23 # 兵庫県南東部の社叢林における 20 年間の植生動態: 任容(神戸大学) ら
MX/J (HTIMI)/(T-) 'S	林研究・整備機構 森林総合研究所)ら		ラル 日 - 民民田和 1 (日成子国ハテ/ 5)	
PG-6 # Estimating stem respiration for	PG-22 ブナ樹冠の葉の長鎖ノンコーディン		PH-6 # シカ排除柵の内外におけるブナ	PH-24 # 御明神演習林大滝沢試験地の
different temperature tree species by mass balance method: 王萱雯 (静岡大学)	グ RNA 発現の年変動とマスティング: 斎藤秀之 (北海道大学) ら		成木の肥大成長量の比較:阿部隼人(九 州大学)ら	針広混交林における32年間の動態:宮 澤優輔(岩手大学)ら
5				
PG-7 # 非構造性炭素の季節変化から見るヒメシャラの幹枝光合成の役割について	PG-23 コナラにおける展葉制御機構の遺伝子発現解析: 小林正樹 (国際農林水産		PH-7 # モンゴル北部に生育する樹齢が 異なるシラカンバの肥大成長の気候応答:	PH-26 # 暖温帯二次林と冷温帯老齢林 における樹木群集動態と機能形質との関
: 加藤友梨香 (静岡大学) ら	業研究センター)ら		倉田遼大 (信州大学) ら	係: 策勒格尓 (名古屋大学) ら
PG-8 # ウリハダカエデで見られた早春の 樹液滲出量・樹液糖度と繁殖状況との関 係: 齋藤楓華(岩手大学大学院)ら	PG-24 スギにおける HKT 系カリウムトラン スポーター遺伝子の単離と解析: 細尾佳 宏 (信州大学) ら		PH-8 # 気候変動下でササは森林の生産 性にどのように影響するか?:小幡愛(東 京大学)ら	PH-27 # Landsat 時系列データを用いた 丹沢山地丹沢山の植生動態モニタリング: 大西一歩 (東京農業大学大学院)
が、周が城中(石丁八子八子の) り			**************************************	八日 少 (木水展末八子八子)に
PG-9 # 細根呼吸速度の樹種間比較 :	PG-25 Physiological characteristics of		PH-9 # 標高の違いに対するガンコウラン の表現型可塑性: 浅間山高山帯の事例:	PH-28 # 大台ヶ原の針広混交林における 森林面積の長期変動: 面積は減少してい
非構造性炭水化物の季節変化からの探 求:橋本裕生(信州大学)ら	Cryptomeria japonica during the dormant season in the warm-temperate region: 比 江島尚真 (鹿児島大学) ら		の表現型可塑性: 浅間山高山帯の事例: 近森雄作(長野大学)ら	森林面積の長期変動:面積は減少しているか:田中紅羽(三重大学)ら
	A TAN IN THE REAL PROPERTY OF THE PARTY OF T			
PG-10 # 根圏低酸素と高温の複合ストレスに対する熱帯フトモモ科樹木の根の呼	PG-26 乾燥ストレスに対するスギおよびヒ ノキコンテナ苗の生理生態的反応: 小笠		PH-10 # クリの萌芽と潜伏芽の関係性について: 石原奏(新潟大学院)ら	PH-29 # ブナのマスティングが林床光環 境と下層木の成長に与える影響: 大谷紀
吸応答:川江萌々香(東京大学大学院)ら	真由美(森林総合研究所関西支所)ら			一 (静岡大学) ら
PG-11 # トドマツの加齢と個体サイズに	PG-27 強い土壌乾燥に対するスギ・ヒノ		PH-11 # スギの成長速度における系統	PH-30 # 冷温帯林における於メタン放出
依存した針葉の発現変動遺伝子と生理機 能評価:田嶋健人(北海道大学)ら	キ成木の樹液流速度の応答: 釣田竜也 (森林総合研究所) ら		間差を決定する樹冠特性について:日下 真桜(京都大学大学院)ら	PH-30 # 冷温帯林における幹メタン放出 の放射方向変動性:長沢誠(京都大学) ら
PG-12 # 光波長変換下で育てたカラマツ 実生の葉の老化遅延に関する遺伝子発現	PG-28 土壌乾燥ストレスによるスギ苗木		PH-12 # サカキのシュート構造と光環境との関係: 岸大地(京都府立大学大学院)	PH-31 # Aboveground net primary
解析: QIANGHAOYANG (北海道大学) ら	の回帰不能点について: 才木真太朗(森 林総合研究所)ら		ら	productivity in three major forest types in Cambodia: ThavSopheak (Nagoya University) 6
				,, -
PG-13 # ブナ樹冠の葉の老化にともなう遺伝子発現パターンの変化:前田唯眞	PG-29 水ストレスに対するヒノキの着花特性とそのメカニズム:福田拓実(静岡県農		PH-13 # モミ苗木における幹枝の形態と フェノロジー:神代花穂(京都府立大学) ら	
(北海道大学)ら	林技術研究所森林・林業研究センター) ら		5	
PG-14 # ダケカンバの葉形質の種内変	PG-30 永久凍土上のクロトウヒの肥大成		PH-14 # 冷温帯落葉広葉樹における	
異:5つの産地試験林を用いた評価:早 川朋花(静岡大学)ら	長は森林火災後にどのように変化する か?:大橋伸太(森林総合研究所)ら		UAV-LiDAR を用いた枝分布構造の種間 比較: 谷瑞木(静岡大学)ら	3/10 掲示分
				0/10 [8/3/7]
PG-15 # 温帯性つる植物種の木部道管 形質の地理変異は凍結対処戦略によって	PG-31 九州山地のブナ林における土壌侵食による葉の生理学的特性への影響:東		PH-15 # 枝ピクセルの増減過程に着目した UAV による葉フェノロジーの評価: 田中	PH-32 The effect of experimental extreme precipitation on the performance of trees
異なるか:日下部玄(東京大学)ら	若菜(神戸大学)ら		秀英(静岡大学)ら	planted after landslides: 曾瑞琪 (北海道 大学)ら
PG-16 # スギ集団間の乾燥ストレスに対する水理学的適応機能の差異: 小切壮仁(神戸大学大学院)ら	PG-32 高温ストレス下での Melaleuca cajuputi の窒素の吸収と転流: 則定真利 子(東京大学)ら		PH-16 # LiDAR を用いた小流域における 林床の光環境の評価:福井喜一(京都府 立大学大学院)ら	PH-33 エコタイプの異なるブナの発芽特性: 上村章(森林総合研究所)ら
(117 : ハナハナかい つ	1 (ボホハナ/ 5		エハナハナ(が) り	
PG-17 # 材線虫病感染における壁孔の	PG-33 13C パルスラベリングを用いたス		PH-17 # レーザ測量を用いた森林の階	PH-34 トドマツの雪害抵抗性に関連する
病変: 黄文倩 (東京大学) ら	ギ2品種の炭素配分の季節変動: 檀浦正子(京都大学)ら		発表取消	枝形質の地域変異とゲノムワイド関連解 析: 菅井徹人(国立研究開発法人森林研
				究・整備機構 森林総合研究所 北海道支 所)ら

研究発表題目(ホスター)	光衣)			
植物生態	立地			防災・水文
PH-35 ダケカンバ産地試験地における 4 年生苗の萌芽幹動態:室谷楓香(信州大学 大学院)ら	3/8 揭示分	3/10 掲示分	PI-33 バイオ炭およびスラグ肥料を施用したヤナギ3種の生存率と初期成長:山田 穀(国立研究開発法人 森林研究・整備 機構)ら	3/8 掲示分
PH-36 幹の伸長量・肥大量が多い年は 核成長量も多いのか: クロトウヒの例: 田 邊智子(京都大学)ら	PI-1 # 九州北部の森林流域における大 気窒素沈着量の減少下での高い河川硝 酸塩濃度:李周強(九州大学)ら	PI-16 ドマツ心材含水率はなぜばらつく のか - 土壌を主とした各種要因との関係 - 米澤美咲 (北海道立総合研究機構林 業試験場)ら	PI-34 仙台青葉山丘陵に見られる下層に 赤色層を持つ森林土壌の化学的特性につ いて: 佐野哲也 (東北工業大学) ら	PJ-1 メタ統計的極値分布を用いた日本 全域の確率雨量の推定: 經隆悠((国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所) ら
PH-37 熱帯林から寒帯林までの個体葉量を推定する擬似パイプモデルアロメトリー: 隅田明洋(京都府立大学)ら	PI-2 # 冷温帯林におけるミヤコザサ除去が根のバイオマスと形態形質に及ぼす影響:付東川(九州大学)ら	PI-17 土壌タイプの異なる森林における下層土壌の窒素無機化速度: 中山理智(日本原子力研究開発機構)ら		PJ-2 斜面崩壊に起因する流木発生プロセスの実験的検討: 酒井佑一(宇都宮大学)ら
PH-38 序列化手法を用いた樹木根系構造の数値化:新田響平(秋田県林業研究研修センター)ら	PI-3 # 大気窒素沈着量の増加に対する 上層木と下層植生の異なる応答性: 楊茹 (九州大学)	PI-18 シカはナトリウムをどこから得ているのか?~ 堆肥と凍結防止剤中の計測~:智和正明(九州大学)ら		PJ-3 生育基盤盛土に植栽されたクロマツ の根返り耐性と根系分布の関係:野口宏 典 (森林総合研究所) ら
PH-39 ニセアカシアにおけるラメット成長 率と根萌芽発生数の関係:元田多一(秋 田県立大学)ら	PI-4 # ヒノキの葉と細根のリター分解に 及ぼす土壌の影響: 林亮太(名古屋大学 大学院)ら	PI-19 母材の異なる森林土壌におけるプライミング効果: 阿部有希子(日本原子力研究開発機構) ら		PJ-4 # 山形県庄内海岸林の立木密度や 発表取消
PH-40 Soil respiration in a deciduous broadleaf forest under different vegetation management in Kanto region, central Japan: 矢崎友嗣(明治大学)ら	PI-5 # 拡大造林 1 世代目のスギ・ヒノキ 林土壌の特徴 - 広葉樹林からの転換 -: 佐藤大地 (名古屋大学) ら	PI-20 遺跡の花粉分析データに基づく縄 文時代以降の四国における森林変遷:志 知幸治(森林総合研究所)		PJ-5 # 富山県入善海岸防災林における タブノキとクロマツの引き倒し抵抗力: 佐々 木綾香 (東京農業大学大学院) ら
PH-41 森林性低木ヤブコウジのアポミクシス:南淳(鶴岡高専)ら	PI-6 # スギ人工林下層に生育する樹木 個体における重金属類の配分:入江菜紗 (島根大学)ら	PI-21 アルカリ抽出によるタケ植物体中含有ケイ素定量法の検討: 梅村光俊 (国立研究開発法人森林研究・整備機構) ら		PJ-6 # 斜面上に生育するオオパアサガラの水平根による土壌補強強度について: 佐久間楽奈(東京農業大学)ら
PH-42 鈴鹿山脈中部~南部における 2017 年と2023 年のスズタケー斉開花: 岡本透 (森林総合研究所)	PI-7 # 複数樹種のリター分解で得る DOC のフェリハイドライト様物質への吸着 特性:二村杏太朗(名古屋大学)ら	PI-22 埋立造成後 50 年が経過した森林 の土壌炭素蓄積量: 小野賢二 (国立研究 開発法人森林研究・整備機構森林総合 研究所)ら		PJ-7 # 様々な表層崩壊跡地における土 層厚の回復: 松永美月(宮崎大学)ら
PH-43 実生由来のモウソウチクにおける 一斉開花後衰退過程: 小林慧人(森林総合研究所関西支所)ら	PI-8 # 混交林と単一樹種林ではリター分解で生成される有機物の特性は異なるのか?: 柵木香奈穂(名古屋大学大学院)ら	PI-23 デジタルソイルマッピングによる全 国の森林土壌窒素マップの作成:山下尚 之(国立研究開発法人 森林研究・整備 機構 森林総合研究所)ら		PJ-8 # 森林被覆および降雨指標を用いた森林の変化が斜面崩壊に与える影響の評価: 佐藤忠道 (九州大学大学院) ら
PH-44 東近江市・河辺いきものの森におけるハチク林の開花・枯死状況: 籠谷泰行(滋賀県立大学)ら	PI-9 # 森林源頭域における窒素無機化 に及ぼす土壌環境の影響:曹越(東京農 工大学)ら	PI-24 日本海側気候下の森林における降水にともなう重金属類の負荷: 山下多聞(島根大学)ら		PJ-9 # 災害リスク軽減のための森林施 業のあり方に関する研究 * 球磨川流域を 事例に **: 中尾佐織 (九州大学) ら
PH-45 奥秩父山地におけるスズタケの 一 斉枯死・更新プロセスのモデル化: 梅木 清(千葉大学)ら	PI-10 # 越境大気汚染によるイオウ酸化物の飛来が多い森林流域土壌のイオウ蓄 積量:塩出晏弓(名古屋大学)ら	PI-25 長期データと簡易モデルから推定されるスギ人工林の枯死木炭蓄積素量:酒井寿夫(国立研究開発法人森林研究・整備機構)		PJ-10 # 北海道胆振東部地震による崩壊斜面でのリルネットワークの形成と土砂動態:八十川伊織(東京農工大学大学院)ら
PH-46 阿武隈高地のモミ林のモニタリング 試験地における20年間の林分構造の推 移:玉城聡(森林総合研究所)ら	PI-11 # ササの消失及び代替下層植生の回復が土壌生態系機能に与える影響について: 古賀みこと (九州大学) ら	PI-26 DEM スケールの違いが地形パラメータと土壌型予測に及ぼす影響: 稲垣昌宏 ((国研) 森林研究・整備機構)		PJ-11 # 日本のダム上流域を対象とした 森林・地形状態と士砂・流木流出特性の 関係:中島啓太(名古屋大学)ら
PH-47 白坂小流域固定試験地におけるアカマツの種子落下特性: 澤田晴雄(東京大学)	PI-12 # 高山帯における木本根系の無機態および有機態窒素吸収と根特性の関係: 諏訪竜之介(信州大学)ら	PI-27 スギ人工林における間伐が土壌窒素無機化を抑制する要因の検討: 藤巻玲路(島根大学)ら		PJ-12 # 山地上流域を対象とした流量の 時空間変動特性とその支配的な地形条件 : 鯉江知樹 (名古屋大学)ら
PH-48 ナラ枯れ跡地の更新状況:三浦功次(鳥取県林業試験場)	PI-13 # 湧水湿地における植生被覆と周 発表取消	PI-28 斜面上の位置の違いが森林土壌の 温室効果ガスフラックスに及ぼす影響: 阪 田匡司(森林研究・整備機構 森林総合 研究所)ら		PJ-13 # 山地上流域における水貯留機 能評価手法の構築と貯留量の流域間比較 : 猪越翔大(名古屋大学)ら
PH-49 奄美大島における常緑広葉樹二次 林の森林構造および種組成の時間的変 化: 鵜川信(鹿児島大学)ら	PI-14 酪農地帯における樹木への大気沈 着量の変化:加藤雅悠(公立千歳科学技 術大学)ら	PI-29 東京都内における目視観測に基づ くスギ雄花量と林分環境: 阿部真(国立研 究開発法人森林研究・整備機構)ら		PJ-14 # 急峻な斜面における定水位井 透水試験に使用する井戸の形成方法の検 討:柳井鴻太郎(京都大学大学院)ら
	PI-15 ユーカリ3種の活着および初期成長に及ぼす土壌理化学性の影響:赤間宥紀(東京農工大学)ら	PI-30 地形特徴量による森林土壌中交換性塩基量推定モデルの機械学習を用いた検討:今天明宏(国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所)ら		PJ-15 # 複数の堆積岩流域における降 雨流出特性の把握: 滝口慶人(東京農業 大学)ら
		PI-31 苗場山ブナ林の異なる標高における土壌呼吸特性: 楢本正明(静岡大学)ら		PJ-16 # 気候変動と森林回復が山地流域の流出に与える影響 - 93 年間のデータ分析: 卑依璠(東京大学)ら
		PI-32 Sources of carbon supporting the fast growth of developing <i>Phyllostachys edulis</i> culms: WangShitephen(京都大学)		PJ-17 # 高山帯におけるハイマツ林土壌 の水保持機能の解明: 石橋未来(信州大 学 大学院)ら
<u> </u>	1	1		

研究発表題目(ポスター発表)					
	防災・水文		利	用	
PJ-18 # 下層植生が林床面蒸発散量に 与える影響と推定モデルの開発: 橋本朝 陽(筑波大学)ら	PJ-34 釜淵森林理水試験地における小規 模施業後の浮遊土砂流出: 阿部俊夫 (森 林総合研究所) ら	PJ-52 病虫害後のコナラのイソプレン放出 特性: 深山貴文(森林総合研究所) ら	3/8 揭示分	PK-16 作業道盛士の転圧時に作用する 土圧と透水性:宗岡寛子(国立研究開発 法人森林研究・整備機構 森林総合研究 所)ら	
PJ-19 # 落葉広葉樹林斜面における林 内雨の時空間分布: 三宅康太 (東京農業 大学)ら	PJ-35 カラマツ人工林斜面における獣害による土砂流出量の変化: 廣瀬満 (山梨県森林総合研究所)	PJ-53 異なる気候帯に生育するブナの葉の特性とガス交換: 小坂泉(日本大学)ら	PK-1 # 地形と事業量による伐採搬出作業システムの選択: 大橋岬平(三重大学)ら	PK-17 バックホウのバケット部による路体 締固め時の最適な締固め回数は?:和多 田友宏(岐阜県森林研究所)ら	
PJ-20 # 高密度のマダケ林における樹 冠遮断の特徴: 木村健人 (宮崎大学大学院)ら	PJ-36 北海道道東の森林において微動アレイ探査を用いた地下構造の推定:福島慶太郎(福島大学)ら	PJ-54 エルニーニョ現象による異常乾燥 が乾燥常緑林の水利用に与える影響:飯 田真一(国立研究開発法人 森林研究・ 整備機構 森林総合研究所)ら	PK-2 # タワーヤーダを用いた下げ荷集 材可能範囲及び搬出可能量の推定: 木野 朗斗(京都府立大学)ら	PK-18 横断排水溝に使用するヒノキ枝条 東の見かけの復元に関する考察: 山口智 (国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所) ら	
PJ-21 # 宮崎大学田野フィールドの常緑 広葉樹林における樹冠遮断量の計測: 阿 部悠南(宮崎大学)ら	PJ-37 東京農業大学奥多摩演習林符倉 沢流域における表面地形と基岩地形との 比較:佐藤貴紀(東京農業大学)ら	PJ-55 ボルネオ島オイルパーム農園の水 蒸気輸送に気象要素が与える影響:羽田 泰彬(東京大学)ら	PK-3 # ウッドライナーを用いた下げ荷集 材における集材可能範囲の抽出手法の開 発:木戸彩乃(京都府立大学)ら	PK-19 獣害対策を考慮した微細藻類を用いたのり面保護工: 矢部和弘 (東京農業大学)ら	
PJ-22 # カラマツ人工林における林齢ごとの蒸発散特性の比較:太田原芽久美 (東京農業大学)ら	PJ-38 山地斜面の土層・基岩層における 間隙空気圧の挙動について: 岩上翔(森 林総合研究所)ら	PJ-56 ヒノキ人工林における列状間伐後 蒸散量の長期変動およびその要因: 邱湞 瑋(筑波大学)ら	PK-4 # 熟練度の違いによる伐倒作業時 の注視点分析: 大島澪 (東京農業大学) ら	PK-20 光学衛星データを活用した長野県 内における林道被災箇所の抽出の試み: 秋田寛己(国立研究開発法人防災科学 技術研究所)ら	
PJ-23 # 土壌水分収支法による幼齢カラマツ人工林の蒸散特性: 相澤壮真(東京農業大学)ら	PJ-39 施業履歴の異なるヒノキ林の2流域における流出量等の比較(第2報): 久田善純(岐阜県森林研究所)ら	PJ-57 林齢がカラマツの単木蒸散量および林分蒸散量に及ぼす影響: 橋隆一(東京農業大学)ら	PK-5 # 森林作業道における路面支持力 の経年変化 一奥多摩演習林の事例一: 伊奈栞 (東京農業大学)ら	PK-21 敵対的生成ネットワークを用いた 路網計画のための迂回率予測:白澤紘明 (森林総合研究所)	
PJ-24 # 冷温帯落葉広葉樹における夜間蒸散特性の季節変化: 倉本輝 (静岡大学) ら	PJ-40 石川県の森林流域における夏季と 積雪期の流出経路の比較: 久保田多余子 (森林総合研究所) ら	PJ-58 森林保険データの解析に基づく干害と立地の関係―北海道と山口県の比較 ― 岩崎健太(国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所)ら	PK-6 # 中山間地域の人口動態の変動が 森林のアクセンビリティに及ぼす影響の推 計:渡部優(岩手大学大学院)ら	PK-22 GNSS を利用した苗木の植付け位 置への誘導精度: 佐々木達也 (森林総合 研究所北海道支所) ら	
PJ-25 # Seasonal Changes Radial Profile of Sap flow for Four Species with Difference Crown Structure: FaryzanQistan (The United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University) b	PJ-41 竜/口山南谷における地下水、湧水、渓流水の環境トレーサーによる比較: 細田育広(国立研究開発法人森林研究・ 整備機構森林総合研究所関西支所)	PJ-59 間伐による林内風荷重の変化:宮 下彩奈(森林総研)ら	PK-7 # Detecting logging sites and their impact on downstream areas in Guadalcanal, Solomon Islands: ChachaTrevor (三重大学) ら	PK-23 ネットワーク型 RTK-GNSS 測位に よる造林地周囲測量の精度に及ぼす立地 の影響: 鶴崎幸 (福岡県農林業総合試験 場)ら	
BJ-26 # Comparison of hydrological response to commercial thinning and clear-cutting of dense Japanese cedar plantation: Mohd GhausIbtisam Binti(東京 大学)ら	PJ-42 ヒノキの枝打ち処理が樹冠の降雨 再配分過程に与える影響:田中延亮(東京大学)ら		PK-8 素材生産における作業日報記録方 法の検討:海津江里(三重県林業研究 所)ら	PK-24 林業機械自律走行のための作業 道逸脱防止システムに関する一検討:有 水質吾(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所)ら	
PJ-27 # 水の安定同位体比を利用した漢 畔湿地と斜面における樹木の水利用特性 の比較: 浅野理久郎(京都府立大学)ら	PJ-43 森林理水試験地に対する TOPMODEL 型タンクモデルの適用: 籾山 寛樹 (国立研究開発法人 森林研究・整 備機構 森林総合研究所) ら		PK-9 生産管理システムを用いたホイール式ハーベスタの生産性評価: 斎藤仁志(岩手大学)ら		
PJ-28 # 桐生水文試験地ヒノキ林における森林動態および NEE の長期変動: 佐藤薫(京都大学)ら	PJ-44 地震による森林植生の変化が地下 水と河川の水質に及ぼす影響: 高橋大登 (公立千歳科学技術大学) ら		PK-10 受け口・追い口形状の実態調査: 猪俣雄太 (森林総合研究所) ら		
PJ-29 # A-Ciカーブに基づく光合成能力 の推定はどれだけ簡略化出来るのか?: 中田拓朗(東京大学)ら	PJ-45 北方冷温帯林において植生が出水 時のリン流出に及ぼす影響について: 井 手淳一郎(公立千歳科学技術大学)ら		PK-11 下刈り作業の機械化に向けた研究: 大地純平 (山梨県森林総合研究所)		
	PJ-46 日本全国における森林渓流水水質 の空間分布: 牧野奏佳香 (総合地球環境 学研究所) ら		PK-12 イノシシ・シカ等獣害防護柵侵入 検知システムの実用化研究: 井内正直 (アイオーホイチャーラボ株式会社)		
3/10 掲示分	PJ-47 スギ人工林土壌中の放射性同位 体濃度の鉛直分布:今田省吾(公益財団 法人 環境科学技術研究所) ら				
PJ-30 都道府県が公開する WebGIS 上の 防災マップの特徴と傾向: 園原和夏(日本大学)ら	PJ-48 Heavy nitrogen deposition accelerates soil acidification in Chinese forests: 藤井一至(森林総研)ら		3/10 揭示分		
PJ-31 ベトナムにおける治山施設の潜在的ニーズと普及に向けた課題: 岡本隆 (森林総合研究所)ら	PJ-49 Soil carbon dynamics in two Phyllostachys stands: abandoned bamboo stands still can be carbon sinks?: 久米朋宣(九州大学大学院)ら		PK-13 作業現場におけるフォワーダ集材中の疲労の経時変化:中田知沙(森林総合研究所)ら		
PJ-92 斜面安定に対するスギ側根効果の 検討方法: 岡田康彦((国研)森林研究・ 整備機構)ら	PJ-50 可搬型フラックスタワーを用いた植 裁初期スギ森林の CO2 フラックス: 小南 裕志(森林総合研究所)ら		PK-14 刈払機の駆動動力源の違いが、 造林地における下刈の作業負担に及ぼ す影響:玉田勝也(山梨県森林総合研究 所)		
PJ-33 樹木の配置と根系の形状が樹木個体の引き倒し抗力におよぼす影響: 大谷達也 (森林総合研究所四国支所)	PJ-51 スギ・ヒノキ林樹冠上の大気 0。 濃度と H, O・CO。交換量の関係について : 清水貴範 (国立研究開発法人 森林研 究・整備機構) ら		PK-15 ホイール型林業機械外装の色彩構成: 松村哲也(信州豊南短大/東大院農)		

研究発表題目(ホスター)	光 衣/			
動物	・昆虫	微生物		
3/8 掲示分	PL-16 揮散性ピレスロイド系殺虫剤による 樹幹内のカシノナガキクイムシ駆除の試み : 北島博(森林総合研究所)ら	3/8 掲示分	3/10 掲示分	PM-33 Geographic distribution of needle litter microfungi in British Columbia: 大園 享司(同志社大学)ら
PL-1 # 高尾山域における高頻度なレクリ エーション活動が野生動物に与える影響: 安井理香(東京大学大学院)ら	PL-17 カシノナガキクイムシ成虫の初発日 確認に自動撮影装置は利用できないか: 滝久智(森林研究・整備機構)ら	PM-1 # アカマツ実生の生育を阻害する Trichoderma 属菌の単離と病原性の評価: 白川誠(東京大学大学院)ら	PM-16 日本産マツ属樹木と共生する外生 園根菌胞子の耐熱性: 阿部寛史(東京大学)ら	
PL-2 # 京都市宝が池公園に生息するニホンジカの日周活動: 杉田泰淳(京都大学大学院)6	PL-18 岩手県におけるカシノナガキクイムシの1年2化虫の発生事例: 小岩俊行(岩手県林業技術センター)ら	PM-2 # 菌根のターンオーバーに伴う根圏パクテリアの群集変化とそれらの分解機能: 若山彩貴(東京農業大学)ら	PM-17 Identification of microRNAs involved in ectomycorrhizal formation in Cenococcum geophilum: 陶媛勛 (The university of Tokyo) ら	
PL-3 # 捕食者の非消費型効果がシカの 行動形質と時空間的活動に及ぼす影響: 玉木麻香 (東京大学)ら	PL-19 カシノナガキクイムシ穿入丸太の分割と林内放置による羽化脱出への影響: 衣浦晴生(森林総合研究所)ら	PM-3 # 日本の天然カラマツ林における 外生菌根菌群集:張鵬翼(東京大学)ら	PM-18 Indentification of IncRNAs involved in ectomycorrhizal formation in <i>Populus tomentosa</i> : 楊紫薇(東京大学)ら	
PL-4 # 糞粒法に用いる/ウサギの糞消失に影響を与える要因の検討:中川恵翔 (宮崎大学大学院) ら	PL-20 カシノナガキクイムシ穿入木の玉切り長さの違いによる羽化脱出への影響: 矢口甫(森林総合研究所)ら	PM-4 # ヤクスギ林冠と地上土壌における園根菌群集の比較: 末吉功季(神戸大学) ら	PM-19 Growth responses of larch seedlings to the inoculation of ectomycorrhizal genera <i>Suillus</i> and <i>Rhizpogon</i> : 宮本裕美子(信州大学)ら	
PL-5 # 都市の鳥類の種子散布ネットワークに影響を及ぼす要因: 湯天禹 (東京大学大学院)ら	PL-21 カシノナガキクイムシ穿入木の埋設 処理による羽化脱出への影響:松本剛史 ((国研)森林総合研究所)ら	PM-5 # Exploring the functions of GST2/GPS1104/PE15/PE17 genes in ectomycorrhizal formation of Populus tomentosa: 劉穎(東京大学)ら	PM-20 地質ボーリングコアを用いた歯根 歯埋土胞子の生存期間の探索:田中友啓 (東京大学)ら	
PL-6 # ヒノキ人工林における階層構造と繁殖期および越冬期の鳥類種多様性の関係: 西鈴音 (宮崎大学院) ら	PL-22 ミズナラ丸太による青森県産カシ ノナガキクイムシの飼育試験:伊藤昌明 ((地独) 青森県産業技術センター林業研 究所)	PM-6 # Analysis of related gene expression and genotype frequency underlying ectomycorrhizal formation in Cenococcum geophilum: 孔德寧(東京大 学)ら	PM-21 森林土壌中の菌糸ターンオーバ ー: 土壌断面撮影と AI 画像分析で追い つけるか: SchaeferHolger (森林総合研究 所)	
PL-7 # 落葉樹天然林の針葉樹人工林化による有剣ハチ群集のデトリタス依存度の増加:上森教慈(九州大学)ら	PL-23 東日本におけるカシノナガキクイム シの集団遺伝構造: 小林卓也(森林総合 研究所 北海道支所) ら	PM-7 # Co-colonization in <i>Populus tomentosa</i> : a split root assay-based study of arbuscular and ectomycorrhizal interactions: KosolwattanaPhobthum(東京大学)ら	PM-22 3種のショウロ属菌における埋土 胞子の生存期間の検証: 村田政穂 (秋田 県林業研究研修センター) ら	
PL-8 # スギ・ヒノキ丸太へのエタノール 注入によるキクイムシ穿孔様式の劇的な 変化:中山直紀(名古屋大学)ら	PL-24 フクギの枝と葉柄に穿孔するフクギノコキクイムシの繁殖生態: 辻本悟志(一般財団法人沖縄美ら島財団)ら	PM-8 # 異なる薗根形成段階におけるイチヤクソウ根圏細菌の群集構造と系統的 多様性: 榮航太朗 (三重大学) ら	PM-23 サクラ属樹木 4 種に対する Cytospora japonica の病原性: 服部友香 子(森林総合研究所)ら	
PL-9 # 飛翔時間がカシナガの姿勢に及 ぼす影響〜フライトミルを用いた観察〜: 小西温輝(兵庫県立大学)ら	PL-25 モミの害虫モミハモグリゾウムシの 生活史と植物病原菌の媒介について: 綾 部慈子(国立研究開発法人 森林研究・ 整備機構 森林総合研究所)ら	PM-9 # 町屋海岸クロマツ林における Cenococcum geophilum 菌体パイオマスの 定量:瀬川あすか(三重大学)ら	PM-24 カラマツ類次代検定林で発生したならたけ病一被害の家系差に注目して一:和田尚之(北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場)ら	
PL-10 # 野外環境下でマツノザイセンチュウはその近縁種と雑種を形成するか?: 池田優月(明治大学)ら	PL-26 長野県におけるツヤハダゴマダラカミキリ成虫の発生: 柳澤賢一(長野県林業総合センター)ら	PM-10 # ミヤマハンノキの共生微生物群 集構造:藤井恵理奈(東京大学大学院) ら	PM-25 日本におけるマツ類赤斑葉枯病 菌の分子同定: 秋庭満輝(森林総合研究 所)ら	
	PL-27 クピアカツヤカミキリ飼育個体に対する各種殺虫剤の効果試験 3年間の結果:法眼利幸(和歌山県林業試験場)ら	PM-11 # カラマツ林とスギーヒノキ混交 林の境界における外生園根菌の埋土胞子 の分布: 廣江裕輝(東京農業大学)ら	PM-26 千葉県北部地域に造成した幼齢ユーカリ人工林に発生した葉枯性病害: 坂上大翼 (東京大学)	
3/10 掲示分	PL-28 トビムシー個体からの腸内微生物 嚢解析の試み: 濱口京子 (国立研究開発 法人森林研究・整備機構森林総合研究 所関西支所) ら	PM-12 # 菌根形成したアカマツ実生の成 長と培地における菌養の特徴との関係: 吉岡隼人 (東京農業大学) ら	PM-27 スギコンテナ苗の根腐れ部から分離された Fusarium 属菌: 安藤裕萌(森林総合研究所九州支所)ら	
PL-11 河川敷が二ホンジカの生活環に重要な役割を果たしている: 林耕太(山梨県森林総合研究所)	PL-29 マツヘリカメムシ(Leptoglossus occidentalis)の共生細菌獲得経路の探 素:武原菜々花(九州大学)ら	PM-13 # 乾湿条件下で砂漠植物の 成長に関わる根部内生微生物の推定: NGUYENTHI HUONG THI(鳥取大学)ら	PM-28 薬剤散布によるスギ赤枯病の防除効果: 北野皓大(群馬県林業試験)ら	
PL-12 白山亜高山・高山帯における自動 撮影カメラによるニホンジカの侵入状況調査:近藤崇(石川県白山自然保護センター)ら	PL-30 カプトムシ幼虫による木材分解能 カの解明:福田澪李(東京農業大学)ら	PM-14 # 種内系統と交配型の分布から 探る暗色雪腐病菌の繁殖様式:岩切鮎佳 (東京大学大学院)ら	PM-29 モミサルノコシカケを接種したトドマツの溝簾れと子実体発生に影響する要因:山口岳広(森林綜合研究所)	
PL-13 宮崎大学田野演習林のスギ若齢 林におけるシカ被害発生の経年変化:平 田令子(宮崎大学)ら	PL-31 isofemale line を利用したマツノザイセンチュウ近交系の作出: 樋口彩乃(九州大学)ら	PM-15 # ヒノキ生立木の剥皮木部でみられた菌類相の経時的変化の特徴: 戴健平 (東京大学大学院)ら	PM-30 カラマツ高齢林 1 林分における根 株腐朽被害:鳥居正人(森林総合研究 所)ら	
PL-14 岐阜県においてツリーシェルター2 種類がスギ苗木の成長に与える影響の違い:片桐奈々(岐阜県森林研究所)			PM-31 ナラ枯れ被害発生初期地における ナラ蘭検出技術の確立: 升屋勇人((国 研)森林研究・整備機構・森林総合研 究所)ら	
PL-15 小面積皆伐更新が行われてきたコナラニ次林における3 年間のナラ枯れの推移:松本薫(埼玉森林インストラクター会)			PM-32 ナラタケモドキの発生する1公園で のカンノナガキクイムシの時空間分布:高 橋由紀子(国立研究開発法人森林研究・ 整備機構)ら	

:表)

研究発表	題目	(ポスター	-発
	特用林	産	
	3/8 掲示	分	
PN-1 寒冷地域 気象条件が及 県林業技術セン	域における ぼす影響: ンター)	マツタケの発生 : 成松眞樹(岩=	ī.
PN-2 原木シイ ケオオヒロズコ 討: 園田茉央	グタケ子実(が類混入) (鳥取県材	本におけるシイタ の軽減方法の検 *業試験場)ら	!
PN-3 # ウルシ の量と成分のB (京都大学) ら	ン内樹皮が 時期的変重	いら滲出する漆液 カ: 二社谷悠太	ŧ
PN-4 長崎県3 キの開花・結: 間差:前田ー ター)ら	5島列島に 実に関する (長崎県農	おけるヤブツバる地域特性と個位は 林技術開発セン	*
PN-5 重金属が ける重金属分 成: 市原優((研究所関西支	k処理した 布とヒノキ ・ 国研)森 所)ら	ヒバ材表面にお チオール錯体形 妹機構 森林総合	À

研究発表題目(公募セッションポスター発表)3月8日

研究発表題目(公募セッ	<u>ション ポスター発表)3 月</u>	8日	
T1 生物多様性保全と森林管理	T2 森林環境の持つ保健休養機能の基 礎的研究と応用研究 —森林+αの可能性—	T3 森林の放射能研究	T5 樹木根の成長と機能
PTI-1 # 森林植生の空間的変化および 長・短期的変化が鳥類群集に及ぼす影響:柴山潤太(名古屋大学)ら	PT2-1 # 樹木の葉の他感作用一揮発成分と溶脱成分の検定法による違い一: 丸山真依(東京農業大学大学院)ら	PT3-1 福島県森林域の空間線量率および針葉樹 ¹³ Cs 濃度変化の中長期的な推移: 山村充(国土防災技術株式会社)ら	PT5-1 # ボルネオ熱帯低地林における NP 施肥に対する根滲出物速度の種特異 的応答: 平野侑(東京農業大学)ら
PTI-2 # スギ・ヒノキ小面積皆伐施業地 における下層植生の 17 年間の変化: 赤 池友樹 (宮崎大学) ら	PT2-2 # 東京都立公園における季節変化と散策前後の気分変化: 斎藤万桜(東京農業大学)ら	PT3-2 植栽木の樹種による放射性セシウム面移行係数の違い: 齋藤直彦(福島県林業研究センター)ら	PT5-2 日本の森林生態系における土壌深度別の細根形質と土壌栄養塩可給性との関係:向井真那(山梨大学)ら
PTI-3 マレーシア・サラワク州における 生物保護区の管理と法的枠組み:山下聡 (森林総合研究所)ら		PT3-3 事故後5年目の落葉除去がスギ村 の放射性セシウム濃度に及ぼす影響: 大 前芳美(国立研究開発法人 森林研究・ 整備機構 森林総合研究所) ら	PT5-3 # 中間温帯針広混交林における 樹木の吸水深度の季節変動: 勝浦柊 (名 古屋大学) ら
PT1-4 宮城県名取市の里山に生息する 野ネズミ類:鳥羽妙 (尚絅学院大学)		PT3-4 林床管理の違いが分解にともなう 落葉中の放射性セシウム濃度に及ぼす影響:市川貴大(〈まの木里山応援団)ら	PT5-4 # 中央アルブスの亜高山帯林に おける標高勾配に沿った土壌呼吸および 根呼吸: 坂本小雪(信州大学)ら
PTI-5 岩手県におけるアカマツに関わる地域文化と生物多様性:深町加津枝(京都大学)ら		PT3-5 カリウム施肥による森林土壌における土壌交換性カリ濃度深度分布の変化: 長季秀和(福島県林業研究センター)ら	PT5-5 スギ林における根の土壌補強強度 を推定する: 藤堂千景 (兵庫県立農林水 産技術総合センター) ら
		PT3-6 施肥・施業の違いがワラビの ¹³⁷ Cs 吸収に与える影響Ⅱ:井上美那(国 土防災技術株式会社)ら	PT5-6 # クロマツ2 段水平根の年輪解析 に基づく発達順序の解明:上田悠馬(名 古屋大学)ら
		PT3-7 シイタケ原木の ¹³⁷ Cs 分布と子実体 ¹³⁷ Cs 移行係数の関係: 小林勇介 (福島県林業研究センター) ら	PT5-7 異なる滞水水位がクロマツ苗根系 の引き抜き抵抗力に及ぼす影響:藤田早 紀(森林研究・整備機構 森林総合研究 所)ら
		PT3-8 ハンドヘルド蛍光 X 線分析計によるコナラ木材標本の無機成分測定の試み: 眞中卓也 (森林総合研究所)ら	PT5-8 # 土壌表層から根系最大深さに至るまでのスギ細根形態特性: 柳瀬亮太(名古屋大学) ら
		PT3-9 コナラ萌芽更新木における各部位 1370s 濃度の季節変化: 小川秀樹(福島 県林業研究センター)ら	PT5-9 斜面の異なる位置に生育するヒノ キの根呼吸および細根動態: 小林元(信 州大学)ら
		PT3-10 # コナラ樹体および落葉の放射性セシウム分布と空間変動: 濃上百々(宇都宮大学大学院) ら	PT5-10 # ヒノキ林表層土壌(における脱落根採取法の提案:黒見信輔(名古屋大学大学院)ら
		PT3-11 # 森林源流部からの溶存態 Cs- 137 流出メカニズム: 永田祐太郎(筑波 大学)ら	PT5-11 ササ除去が森林土壌の窒素動態 に及ぼす影響・複数サイトにおける観測 から:福澤加里部(北海道大学)ら
		PT3-12 # 福島県におけるスギ林土壌中の Cs-137 の空間分布に対する選択流の影響: 三嶋駿介 (筑波大学) ら	PT5-12 # 細根解剖特性の季節変動:原生木部数の割合は季節によって変わるのか?: 細井彩 (信州大学大学院) ら
		PT3-13 水生昆虫の枯死葉摂食による渓 流の微細有機物生産と放射性セシウムの 関係:金指努(福島大学)ら	PT5-13 モウソウチク林の根系動態にスキャナー法での撮影地点数が与える影響評価:遠藤いず貴(兵庫県立大学)ら
		PT3-14 福島の落葉樹林斜面における土 壌 137Cs 蓄積量の時空間変動: 小田智 基(森林総合研究所)ら	PT5-14 # スギ林土壌の巨礫の有無に着 目した二周波地中レーダによる推定根系 の比較:金子祥也(名古屋大学大学院) ら
		PT3-15 2022-2023年の葉・外樹皮 が樹幹流放射性セシウム濃度に与える影響: 坂下渉(国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所)ら	
		PT3-16 森林源流域および下流域において水質が溶存態放射性 Cs の動態に与える影響: 戸村光佑 (筑波大学大学院) ら	
		PT3-17 福島県におけるスギ細根中 Cs- 137 の経年変化と下方移行に対する転流 の影響: 高橋純子 (筑波大学) ら	
	I	I	1